

# 組立て及び取扱説明書・保証書

## シモンズマキシマ シリーズ

(4 モーター / 3 モーター)



写真はイメージです

### ◆お願い◆

この度はシモンズマキシマ シリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。快適にご使用いただく為に、本書を必ずお読みいただき、正しくご使用いただきますようお願いいたします。また、

『本書はお買い上げ納品書または領収書と共に大切に保管して』  
いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

お客様相談窓口

フリーダイヤル：0120-316-066

受付時間：月～金 午前 10：00～午後 5：00

(土・日曜日、祝祭日、年末年始及び弊社休日は除きます)



シモンズ株式会社

本書では、安全にご使用いただくためにいろいろな表示をしています。その表示をお守りいただけずに誤ったお取り扱いをする事によって生ずる事柄を次のように区分しています。記載事項をよくお読みいただき、ご理解いただきますようお願いいたします。また、記載事項内容をお守りいただきますよう合わせてお願いいたします。



**警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。



**注意** 「障害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」を示しています。

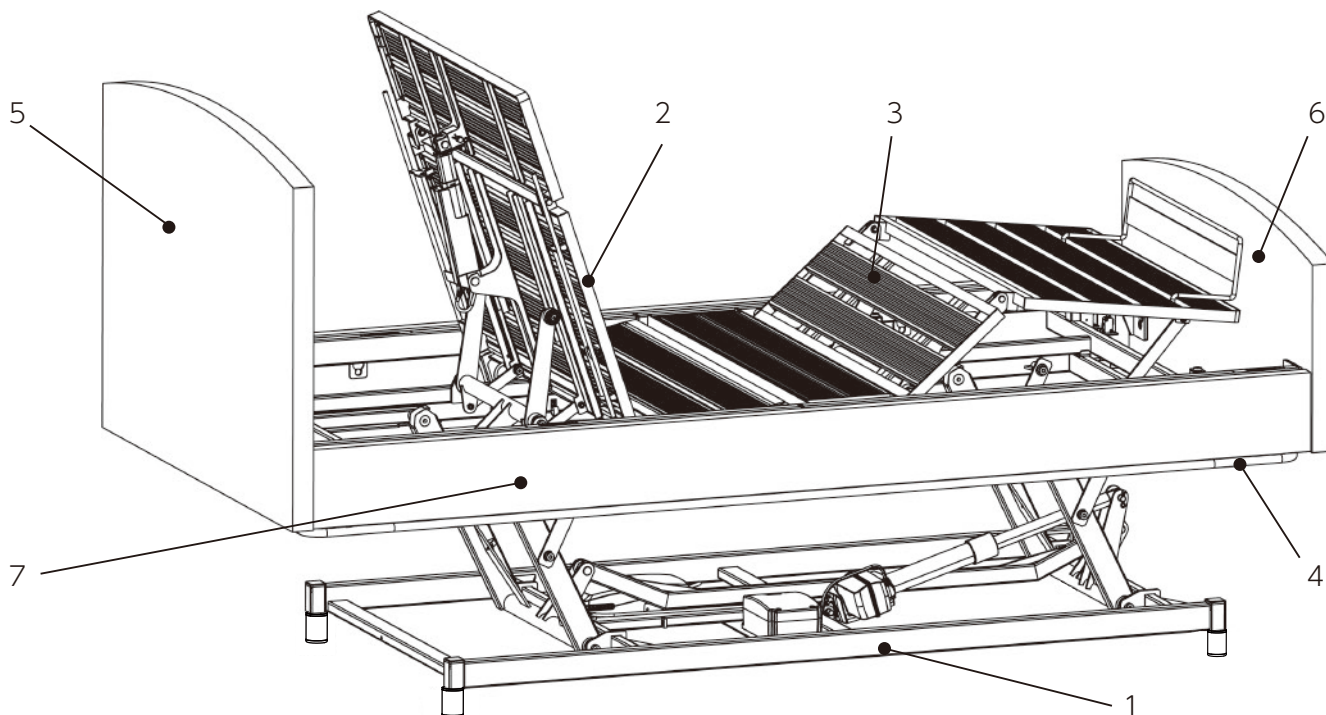
## 目次

SIMMONS

●各部位の名称と構成部品点数	2
●メタルフレーム梱包内容詳細	2-3
●木部フレーム及びマットレス梱包内容詳細	3
●メタルフレームの組立て説明	
1. メタルフレームの組立て	
1-1. ベース部の組立て	4-5
1-2. ヘッド部とフット部の組立て	6-7
1-3. 安全装置感知バーの組立て	8-9
1-4. アクチュエーターケーブルと昇降用安全装置ケーブルの接続	10-11
1-5. 頭・背用安全装置ケーブルとリモコン受けコネクタケーブルの接続	12-13
1-6. リモコンの接続	14
1-7. 動作確認	15
●木部フレームの組立て説明	
2. 木部フレームの組立て	
2-1. ジョイントコネクタボルトの取付け	16
2-2. サイドレールの取付け	17
2-3. ヘッドボードとフットボードの取付け	18
●各種設置方法と最終動作確認	
3. マット止めの取付け	19
4. マットレスの設置	19
5. 最終動作確認	19
6. ベッドの設置	19
●安全装置の説明	20
●リモコンの取り扱いと各モード設定方法	
7. リモコンの機能について	
7-1. リモコンの機能の説明	21
7-2. リモコンの各モードの機能及び設定方法の説明	22-23
7-3. ポジションメモリの登録方法	24
●自動充電式補助バッテリーについて	25
●オプションの紹介	25
●分解する際の注意事項	26-27
●「故障かな?」と思ったときに…	28-29
●お取り扱い上の注意	30-32
●保守点検	32
●お手入れ方法	32
●製品仕様	33
●アフターサービスについて	34
●保証書	35-36

※本書で説明の為に使用している写真はイメージです。現物と異なる部分や表現がある場合もございます。

構成部品



### <メタルフレーム>

部番	部品名	数量
1	ベース部	1
2	ヘッド部(背部)	1
3	フット部(脚部)	1
4	安全装置	1セット

### <木部フレーム及びマットレス>

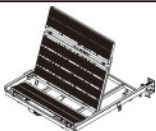





部番	部品名	数量
5	ヘッドボード	1
6	フットボード	1
7	サイドレール	1セット
8	マットレス	1

## メタルフレーム梱包内容詳細




部番	部品	数量	備考
1 ベース部	1 ベース部本体	 1	3モーター、4モーターは各専用フレーム (シングル、セミダブルは共通フレーム)
	1-① 平脚	 4	
	1-② ボタンボルト (M8x16)	 8	
	1-③ 固定プレート	 2	
	1-④ リモコン本体	 1	3モーター、4モーターは各専用リモコン
	1-⑤ コネクタロックナット	 1	1-④リモコン本体に取付済み
	1-⑥ コネクタキャップ	 1	
	1-⑦ 六角レンチ	 1	

## メタルフレーム梱包内容詳細

SIMMONS

	部番	部品	数量	備考	
2 ヘッド部	2	ヘッド部本体		1	3モーター、4モーター及び、シングル、セミダブルは各組合せ毎に専用フレーム
	3	フット部本体		1	シングル、セミダブルは各専用フレーム (3モーター、4モーターは共通フレーム)
3 フット部	3-①	マット止め		1	
	4-①	コーナバー		2	シングル、セミダブルは各専用サイズ (3モーター、4モーターは共通フレーム)
	4-②	ストレートバー		2	
4 安全装置	4-③	サムスクリュー		4	

## 木部フレーム及びマットレス梱包内容詳細

	部番	部品	数量	備考	
5 ヘッドボード	5	ヘッドボード本体	●各種専用の 木部フレーム	1	
6 フットボード	6	フットボード		1	
7 サイドレール	7	サイドレール本体		2	デュークのみ左右指定あり (その他の製品は左右指定なし)
	7-①	ジョイント コネクターボルト	 (M8x25)	8	ヘッドボード用、フットボード用 ※1
			 (M8x20)	4	サイドレール用
※1 デュークのみヘッドボード用M8x50 (4) フットボード用M8x25 (4)					
8 マットレス	8	マットレス本体		1	シモンズマキシマシリーズ専用のマットレスをご使用ください。

構成部品の確認ができれば組立て作業を行います。  
作業を行う前に、本書に書かれている内容をよくお読みになり、  
ご理解をいただいた上で、正しく組立て作業を行ってください。

**安全のため組立て作業は必ず2名以上で行ってください。**



## 1. メタルフレームの組立て

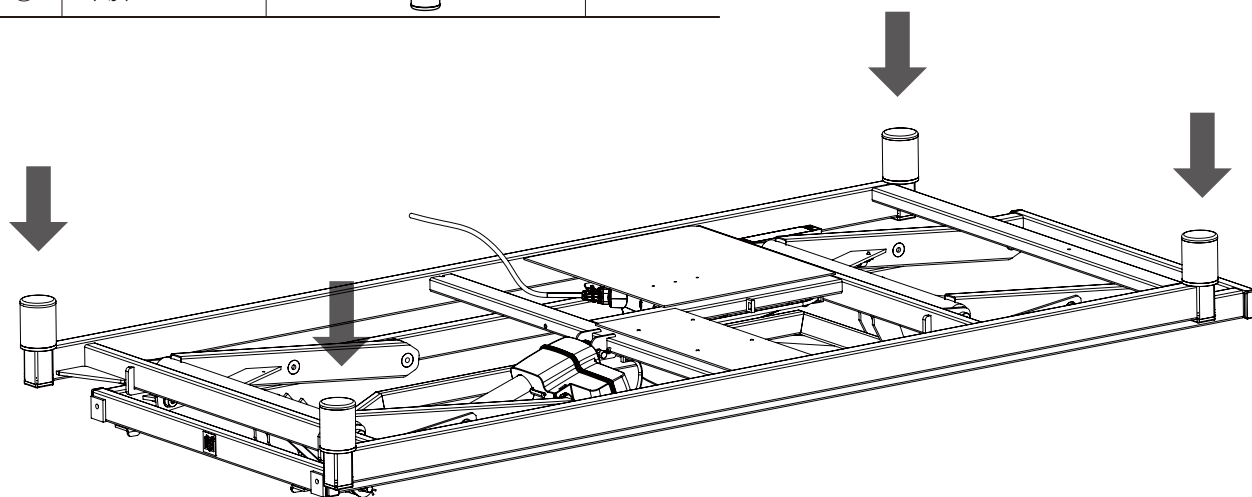
組立て作業を行う周囲に壊れやすい物がない事をご確認ください。ある場合は作業終了まで安全な場所に移動させるか、養生を行うなどの保護をしてください。また、フロアにも養生を行ってください。設置する床面が水平であり、堅さがあることをご確認ください。

### 1-1. ベース部の組立て

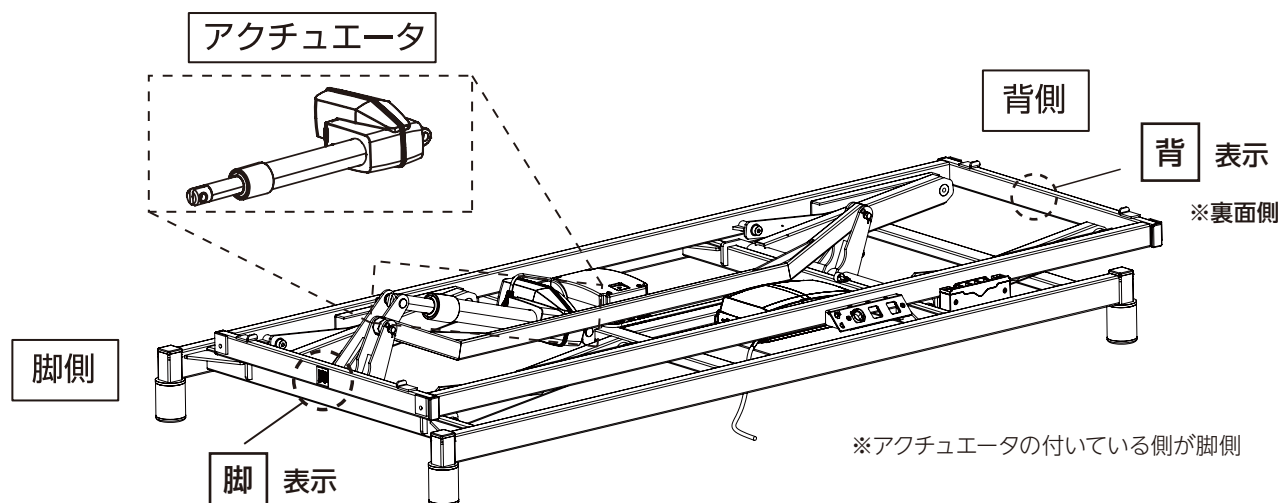
(1) 梱包から取り出したベース部を裏返して置き、矢印で示した場所に平脚を取り付けます。手でねじ込んでください。

#### ●使用部品、工具

部番	部品/工具	数量
1	ベース部本体 	1
1-①	平脚 	4



(2) 平脚を取り付けた後、裏返したベース部を平脚が接地した状態に設置します。その際、ベース部の背部・脚部の表示を確認し、設置する方向と合っている事をご確認ください。



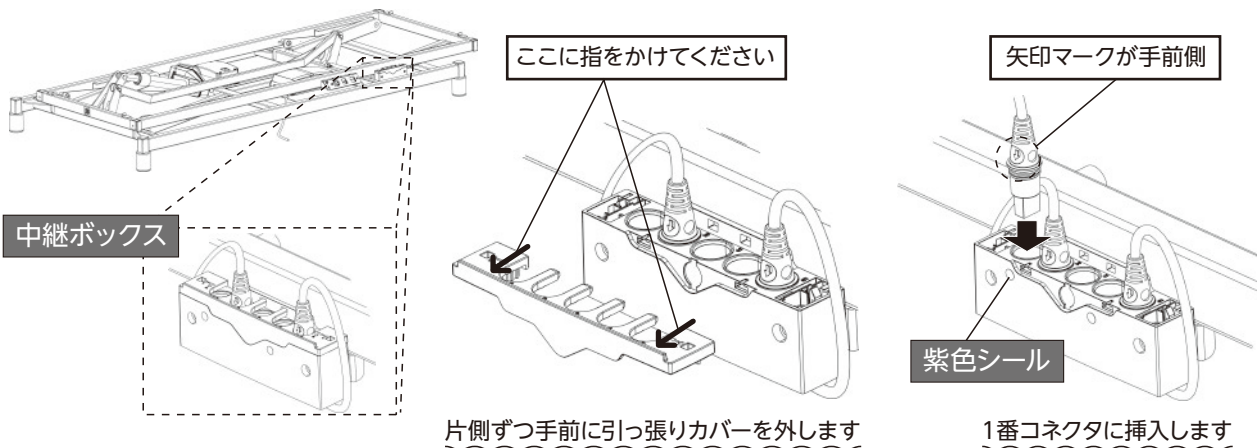


(3) リモコンを接続します。

中継ボックスに取付けられているカバーを外してください。カバーの突起部に指をかけた手前に引っ張ることで取り外すことができます(少々硬いので注意して取り外してください)。中継ボックスの1番コネクタ(紫色のシールが目印)に接続します。ケーブルのコネクタに印された矢印が手前側に向けた状態で接続してください。接続する箇所を間違えると動作しません。ご注意ください。

## ●使用部品、工具

部番	部品/工具	数量
1-④	リモコン本体 	1



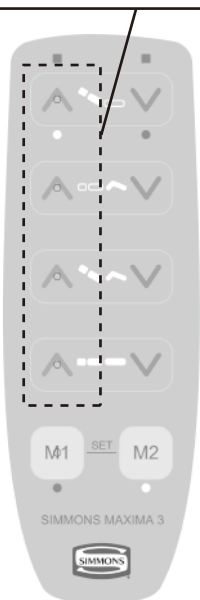
(4) 本体の電源コードをご家庭の100Vコンセントに接続します。

(5) リモコンを操作し、ベース部の高さを一番高い状態にします。

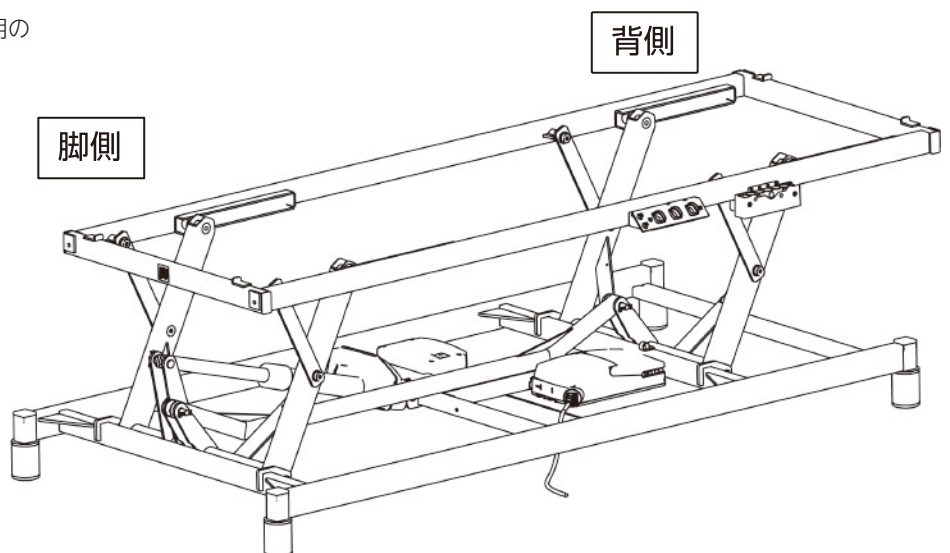
**※リモコン本体は、出荷状態ではセットアップモードに設定されています。どのボタンを押してもベース部の昇降が動作します。**

リモコンを操作しても動作しない場合、中継ボックスのコネクタが適切に挿入されているか確認してください。コネクタが抜けかけていたり、浮いていたら再度挿入し直してください。ベース部の高さを一番高い状態にしたら、リモコンを中継ボックスから取り外してください。

ベース部が一番高い状態になるまで、この枠内のボタンをどれか一つ押してください(一番高い状態になると自動で停止します)



※図は3モーター用のリモコン


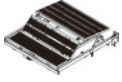


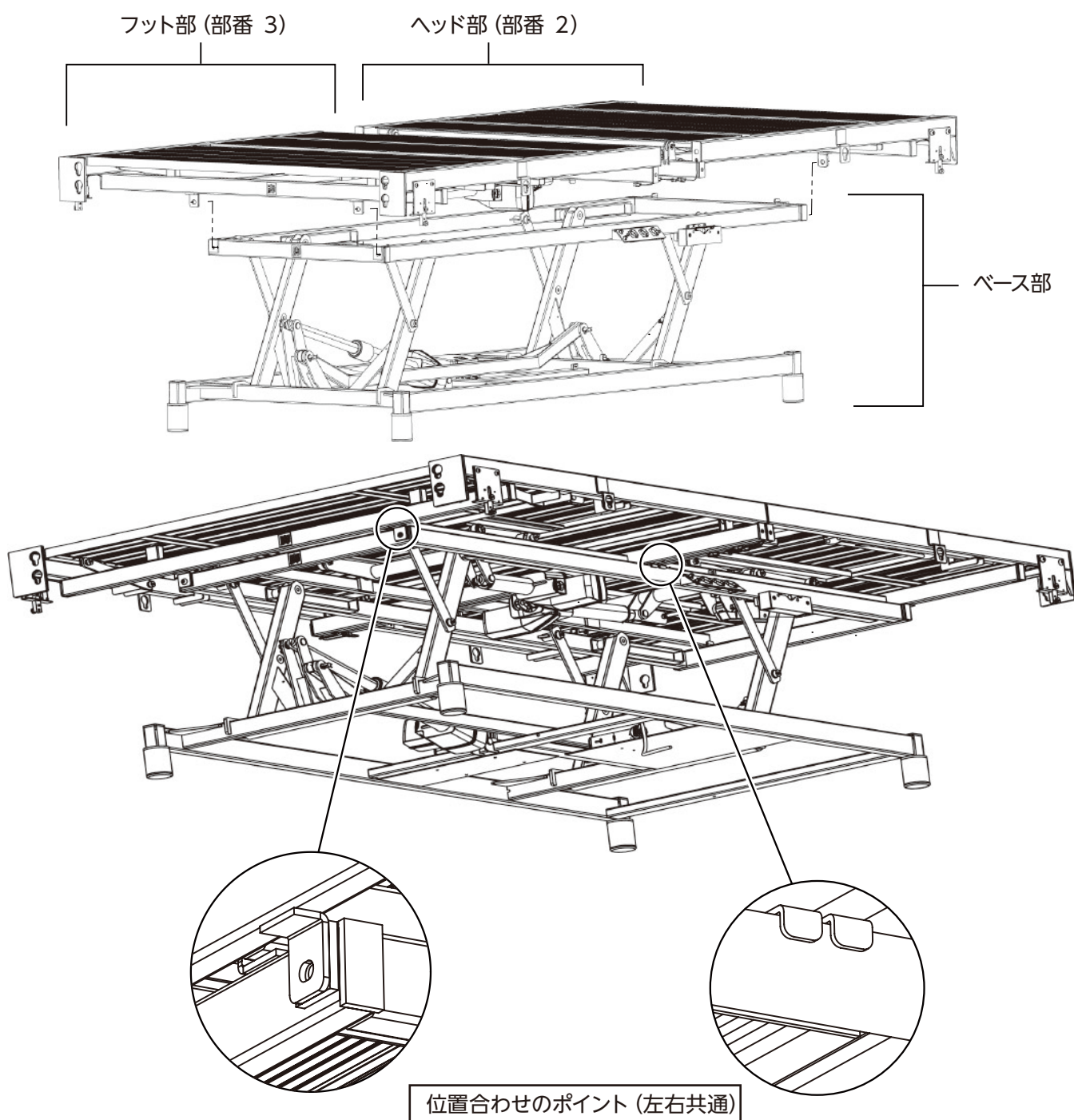
## 1-2. ヘッド部とフット部の組立て

(1) ベース部にヘッド部とフット部を乗せます。ヘッド部、フット部のどちらを先に乗せても問題ありません。

取り付ける位置は **背** **脚** シールを目印にしてください。

### ●使用部品、工具

部番	部品/工具	数量
2	ヘッド部本体 	1
3	フット部本体 	1

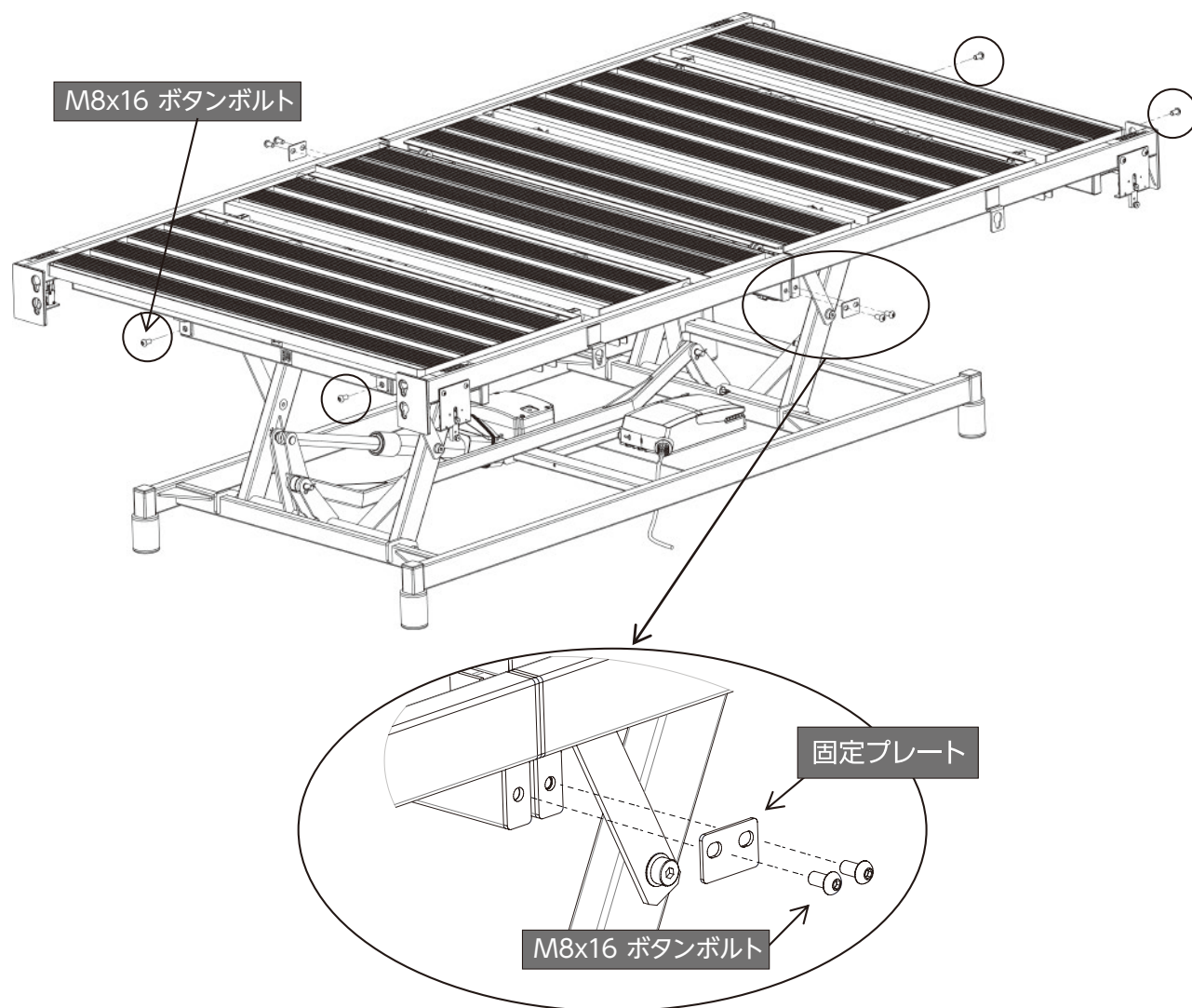


(2) ヘッド部とフット部をベース部にボルトで固定します。

ボルトは付属の六角レンチを使用して、締め付けてください。ボルトに締め付け不良があると、故障や脱落による怪我の原因となります。作業後はボルトに緩みがないか、確認してください。

## ●使用部品、工具

部番	部品/工具	数量
1-②	ボタンボルト (M8x16)	8
1-③	固定プレート	2
1-⑦	六角レンチ	1



※M8x16 ボタンボルトを使用して固定します。  
 ※左右側面部には固定プレートを使用します。



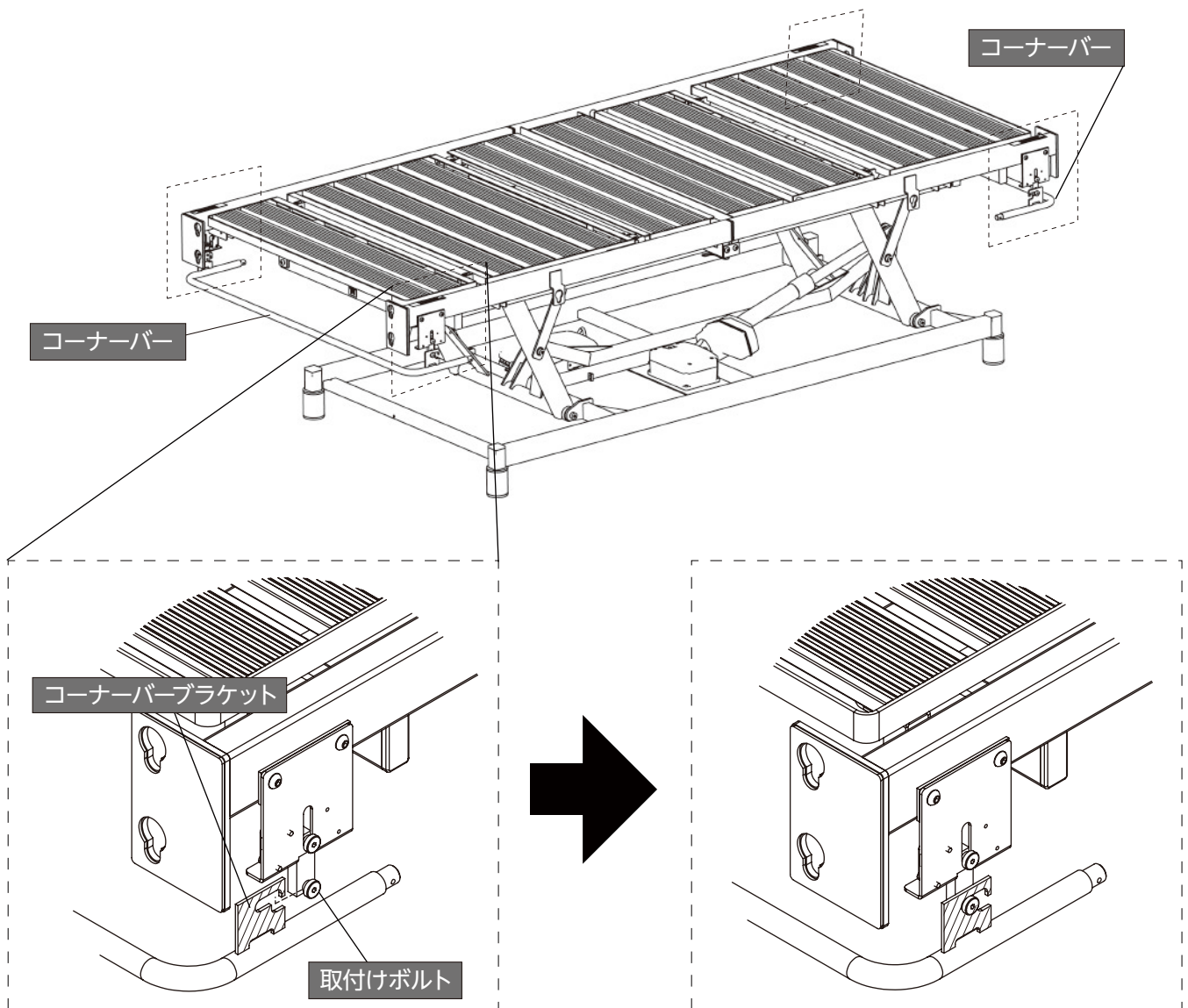
## 1-3. 安全装置感知バーを取付け

(1) 安全装置のコーナーバーを背側と脚側に取り付けます。各左右に取り付け用のボルトが設置されているので図を確認頂き取付けてください。

※コーナーバーは背側と脚側は共通部品です。

### ●使用部品、工具

部番	部品/工具	数量
4-①	コーナーバー 	2



コーナーバーのブラケット開口部を背側と脚側のベッドフレームの左右に設置されている「取付けボルト」に引っ掛けます。

(2) 安全装置のストレートバーを左右側面に取付けます



下図を確認頂き、コーナバーにストレートバーを差し込んで取付けてください。

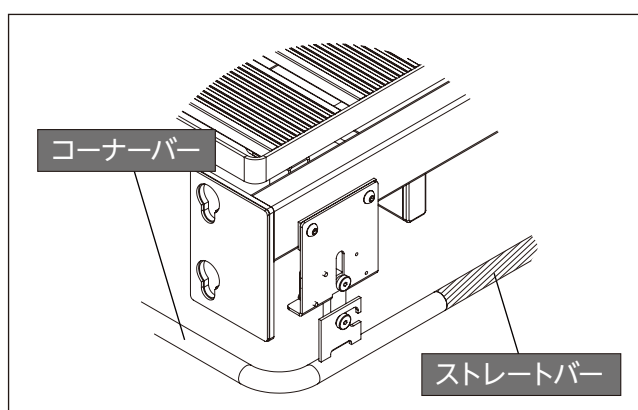
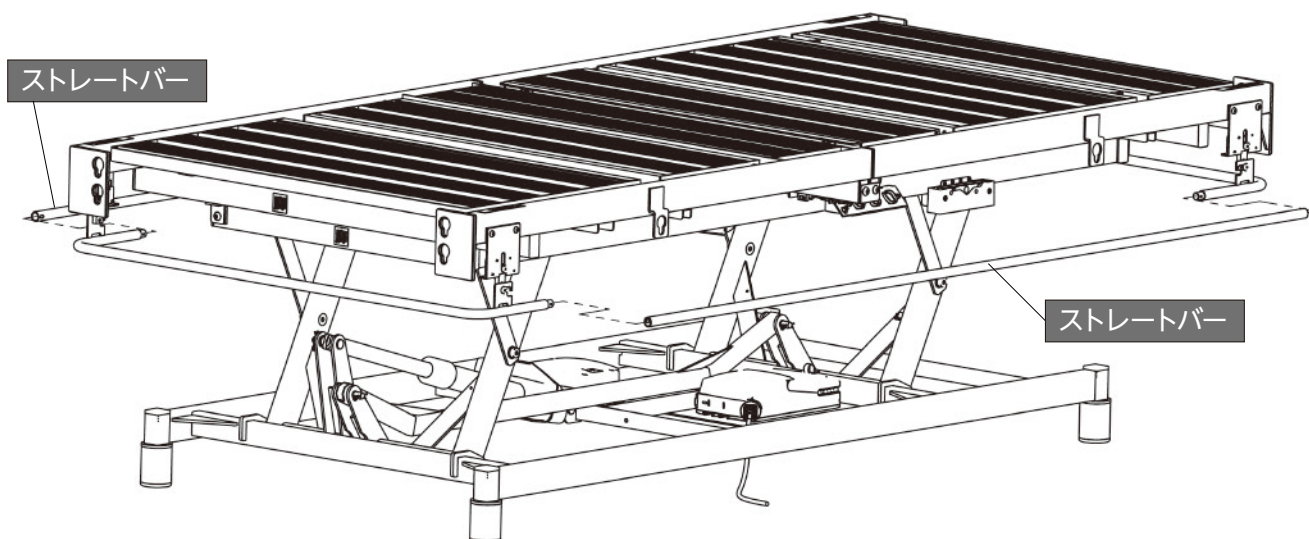
ストレートバーを取付けた後にサムスクリューを使用して固定してください。

※サムスクリューは、ベッドの内側から締め付けてください。

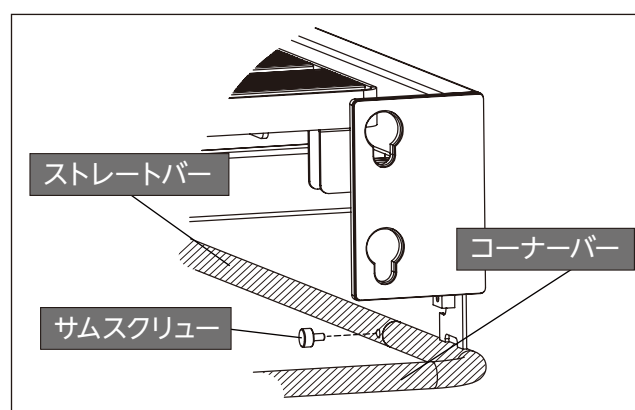
※ストレートバーは左右共通部品です。

## ●使用部品、工具

部番	部品/工具	数量
4-②	ストレートバー 	2
4-③	サムスクリュー 	4



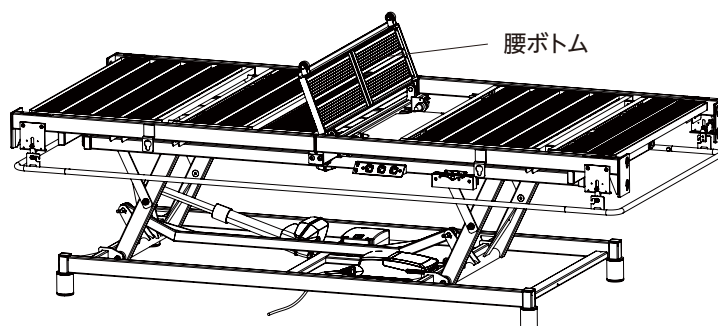
コーナバーとストレートバーに隙間がなくなる様にしっかりと差し込んでください。



ストレートバーのねじ用穴がベッドフレームの内側になる様調整した後、サムスクリューで固定します。サムスクリューは手でしっかりと締め付けてください。

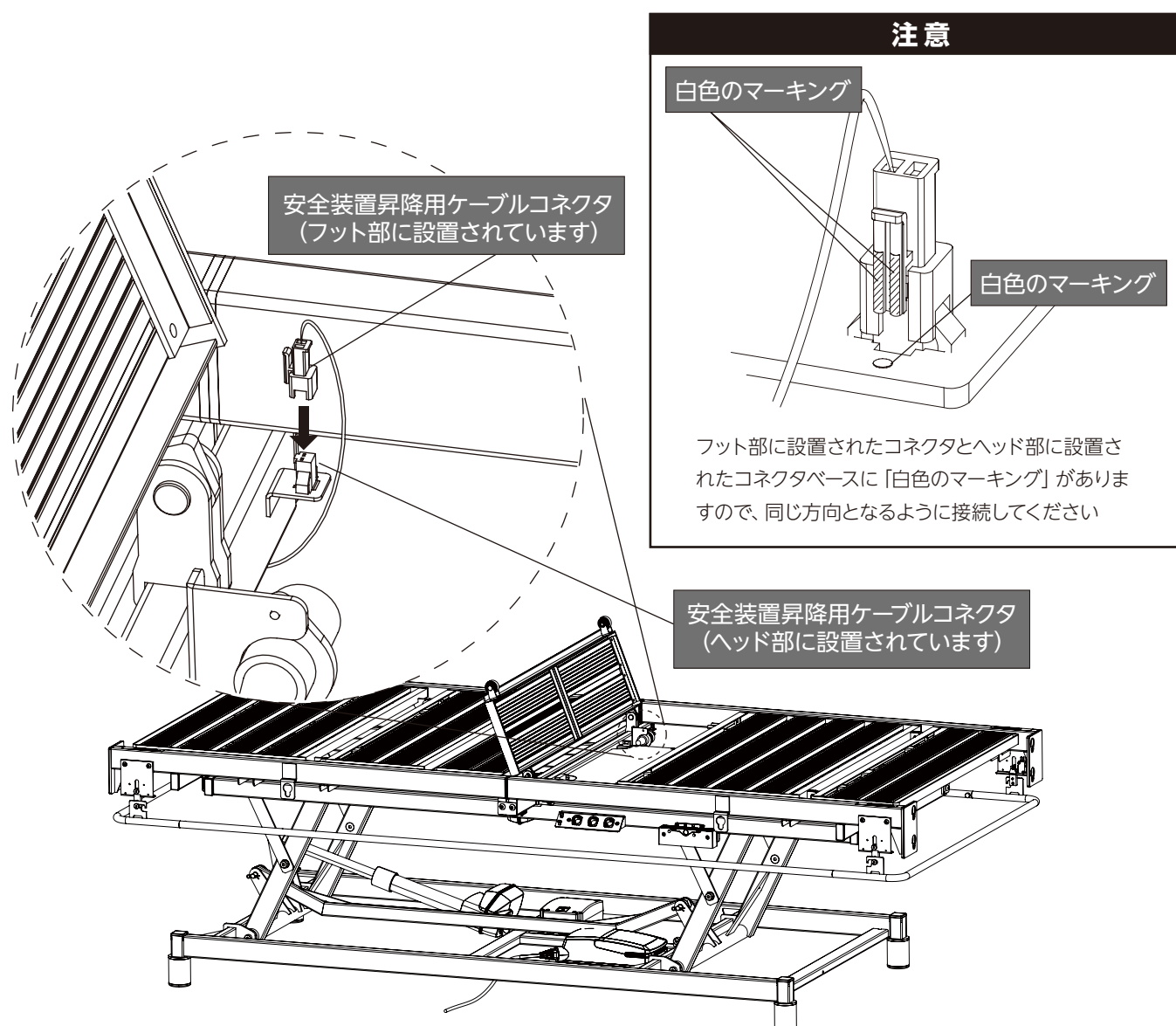
## 1-4. アクチュエータケーブルと昇降用安全装置ケーブルの接続

(1) ケーブルを接続するためにはヘッド部に設けられた、「腰ボトム」を開ける必要があるのですが、「腰ボトム」を開けて下さい（腰ボトムは立ち上がった状態が開いた状態となります）。

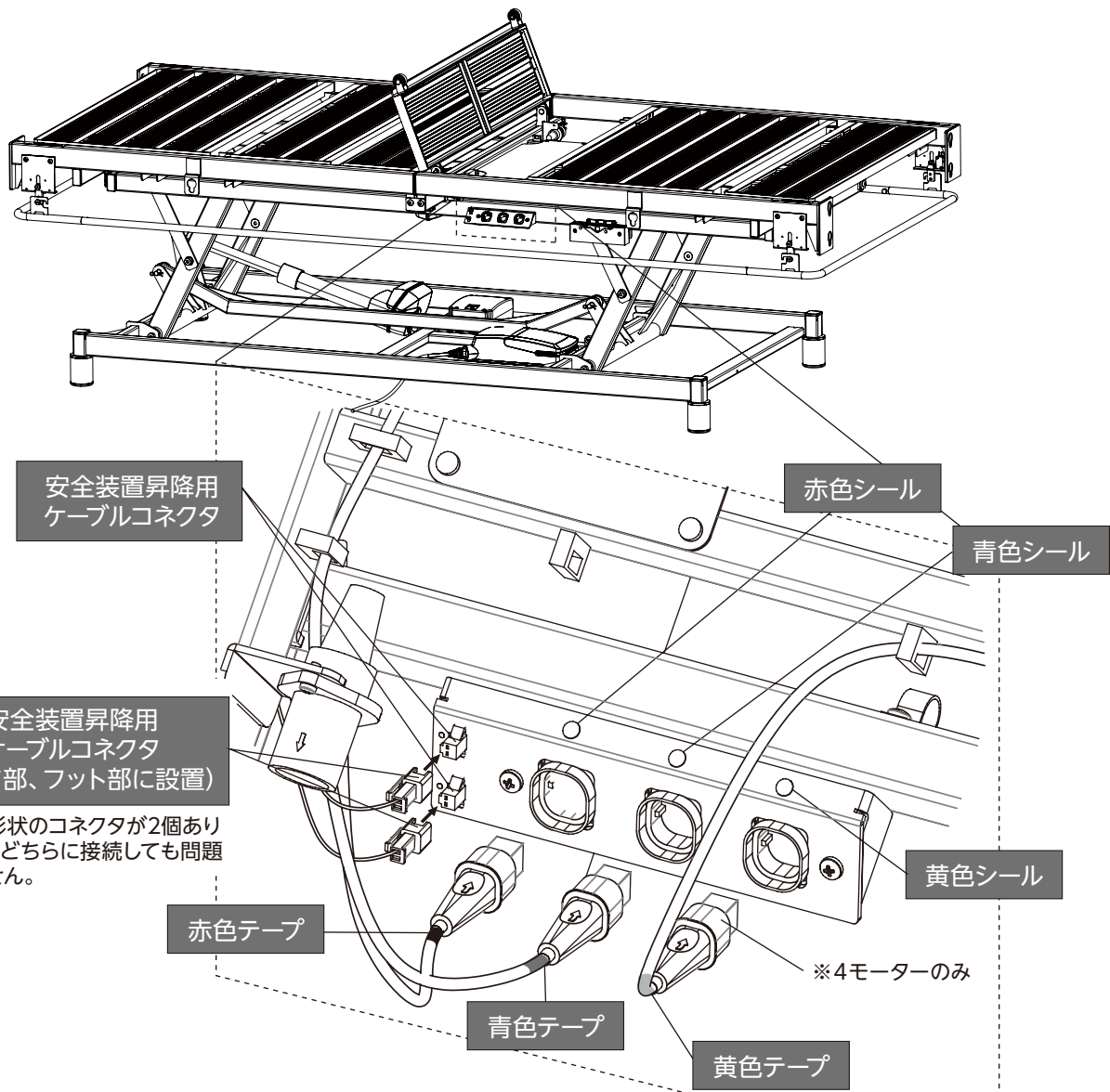


(2) 腰ボトムを開けた状態にしたら、各アクチュエータ及び、昇降用安全装置のケーブルの接続を行ってください。接続が必要なケーブルはベッド左右に配置してありますので、下図を参照して作業を行ってください。

### ① ベッドフレーム左側：ヘッド部とフット部に設置された昇降用安全装置のケーブルを接続します



②ベッドフレーム右側：アクチュエータケーブルとヘッド部・フット部に設置された昇降用安全装置のケーブルを接続します



**注意**

白色のマーキング

白色のマーキング

ヘッド部とフット部に設置されたコネクタとベース部に設置されたコネクタベースに「白色のマーキング」がありますので同じ方向となるように接続してください。

**注意**

矢印マーク

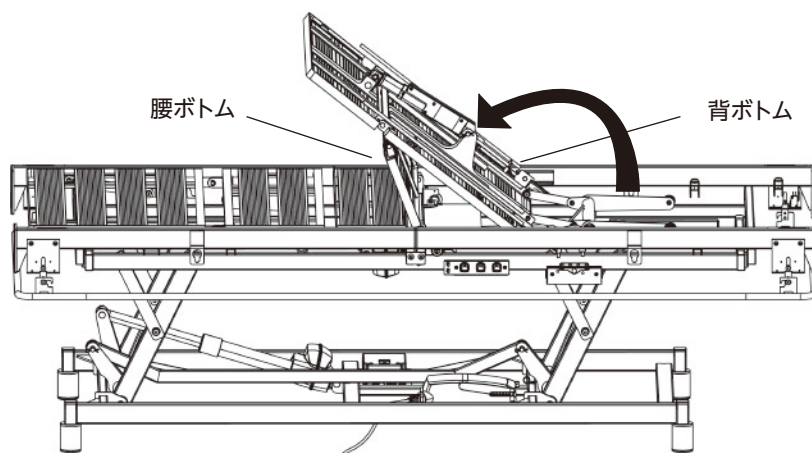
※4モーターのみ

各アクチュエータのケーブルはコネクタの挿入方向に注意してください。ケーブルに印された「矢印マーク」が「上を向いた状態」で接続してください。接続方向が合わないと接続できませんので注意してください。

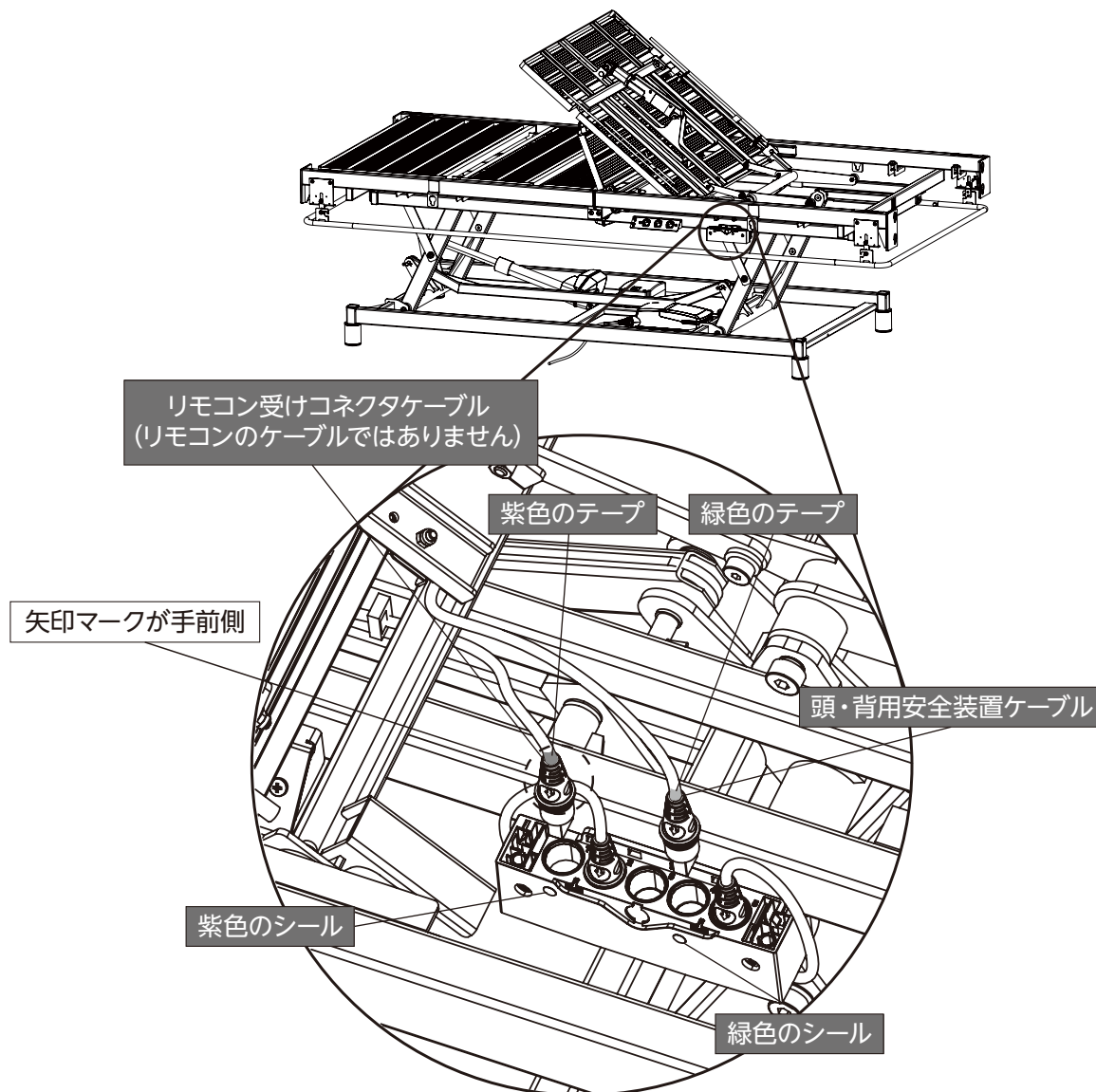


## 1-5. 頭・背用安全装置ケーブルとリモコン受けコネクタケーブルの接続

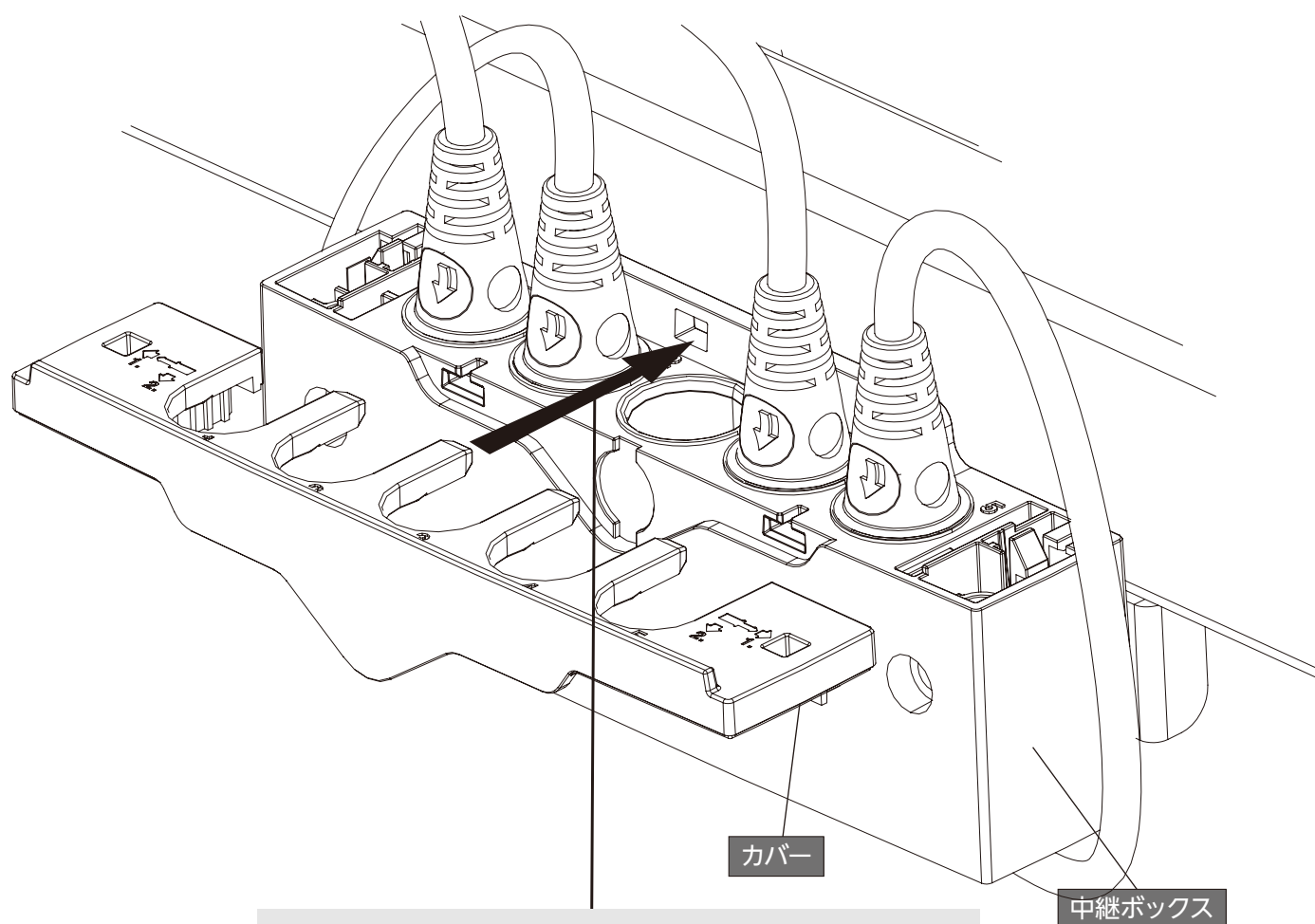
- (1) コネクタにアクセスするために、腰ボトムを開けた状態のまま背ボトムを起こし、腰ボトムで背ボトムを受けます。腰ボトムに衝撃がかからない様に途中で手を離すことなくゆっくりと動かしてください。



- (2) 頭・背用安全装置ケーブルとリモコン受けコネクタケーブルを中継ボックスに接続します。



- (3) ケーブルの接続が終わりましたら、1-1-(3)で外した「カバー」 を中継ボックスへ元通りに取り付けます。  
中継ボックスに接続されたケーブルのコネクタがしっかりと挿入されていることを確認してからカバーを取り付けてください。しっかりと挿入されていないとカバーを取り付けることができません。  
無理な作業を行うと部品が破損するおそれがありますので注意してください。

**👁️ ポイント**

中継ボックスの四角い穴に合わせて矢印の方向へ押し込む  
(四角い穴は4箇所あります)

## 1-6. リモコンの接続

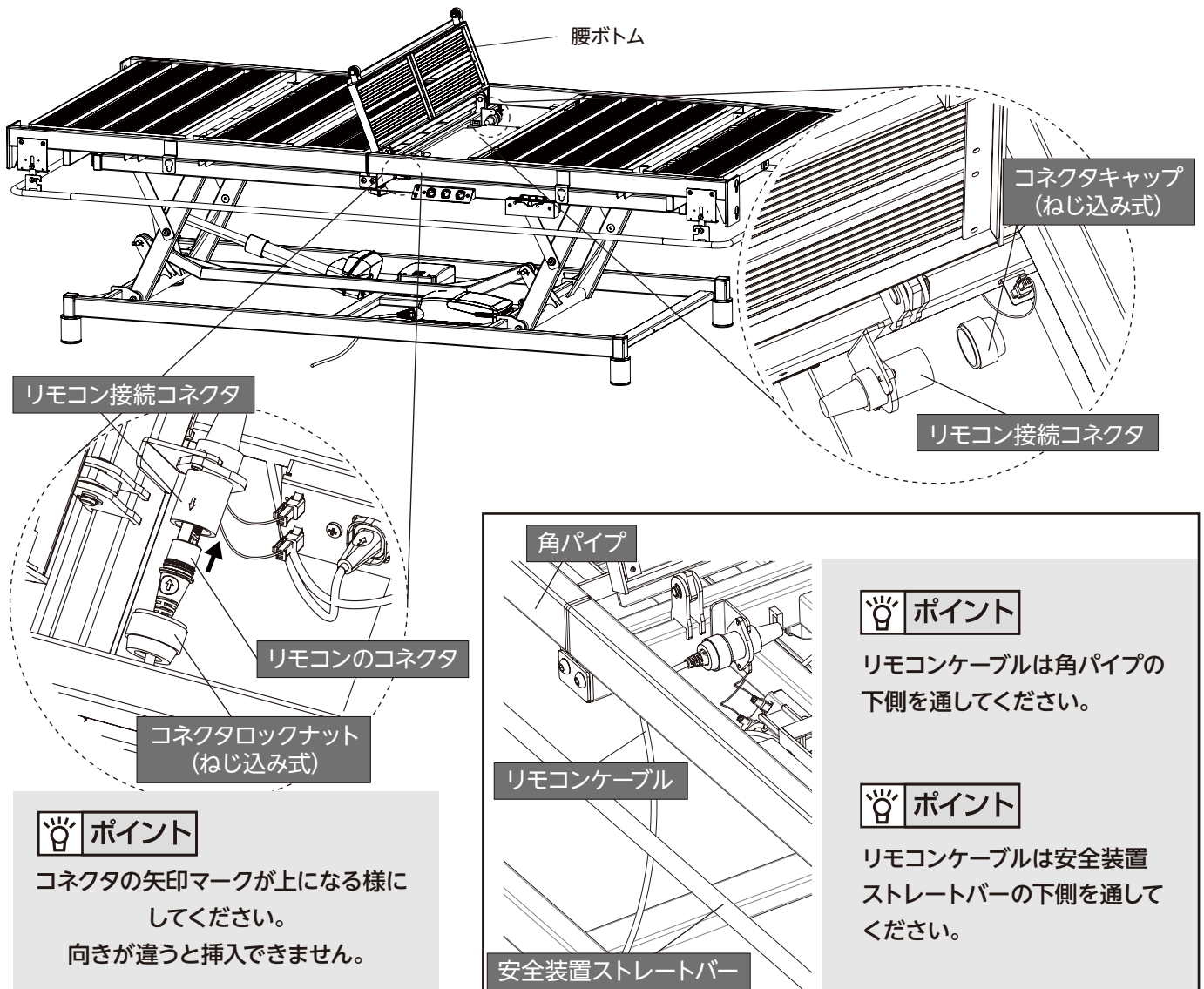
(1) 1-5-(1) で起こした背ボトムを元通りフラットな状態にします。

(2) ヘッド部の「リモコン接続コネクタ」へリモコンのコネクタ部分を接続します。

リモコン接続コネクタはフレームの左右に設けているので、設置状況に合わせて都合の良い方に接続してください。接続が終わったら、付属の「コネクタロックナット」を取り付けてください。ねじ込み式です。使用しない側の「リモコン接続コネクタ」には「コネクタキャップ」を取り付けてください。ねじ込み式です。

### ●使用部品、工具

部番	部品/工具	数量
1-⑤	コネクタロックナット 	1
1-⑥	コネクタキャップ 	1



**これで配線作業は完了です。腰ボトムを閉じて動作確認をおこないます。**

## 1-7. 動作確認

(1) リモコンのモードを変更する。

リモコンのモードを「セットアップモード」から「通常モード」に変更します。

### 注意

出荷時はリモコンのモードが「セットアップモード」になっているため、「通常モード」に変更しないと「全体昇降」以外は動作しません。



### ●セットアップモードから通常モードへの変更方法

この2つのボタンを同時に押します。  
 モードが切り替わると「ピー」という通知音が鳴りますので、  
**「音が鳴り始めるまで」**押し続けてください。  
 ※押すボタンの位置は3モーターと4モーターで共通です。  
 左側の1番上のボタンと右側の一番下のボタンです。

※図は3モーター用のリモコン

(2) 動作の確認

「通常モード」への変更が完了したら、「頭(4モーターのみ)」、「背」、「脚」、  
 「背・脚同時(3モーターのみ)」、「昇降」の動作を確認します。

それぞれが正しく動作すれば「2. 木部フレームの組立て」に進んでください。




リモコンの各ボタンの説明はP21「7-1 リモコンの機能の説明」を参照してください。

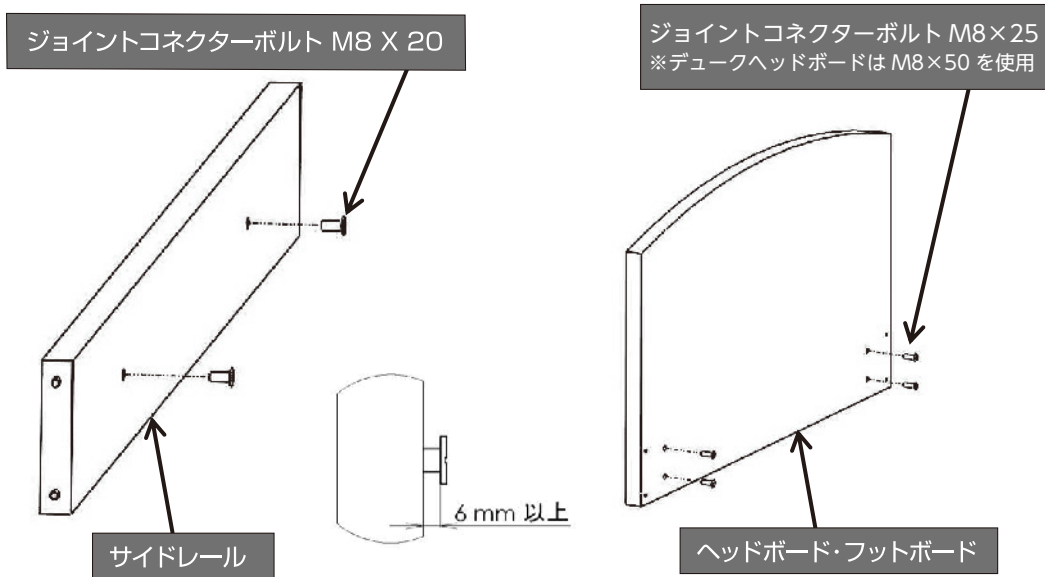


## 2. 木部フレームを取付け

### 2-1. ヘッドボード、フットボード、サイドレールにジョイントコネクターボルトを取付けます。

#### ●使用部品、工具

部番	部品/工具			数量
7-①	ジョイントコネクターボルト	 (M8x25)	ヘッドボード用 フットボード用	8
		 (M8x20)	サイドレール用	4
※1 デュークのみヘッドボード用M8x50 (4) フットボード用M8x25 (4)				
1-⑦	六角レンチ			1

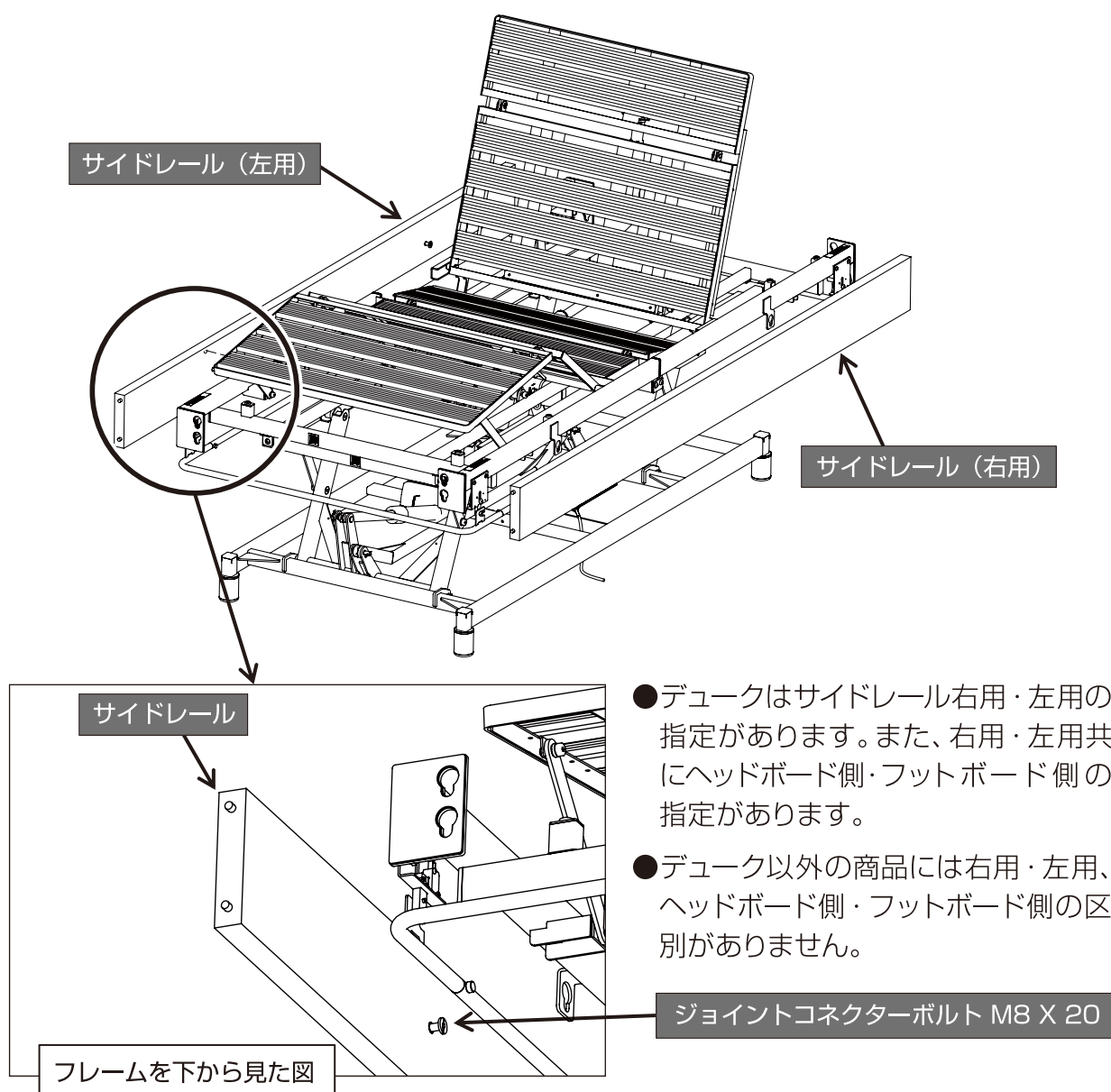


ヘッドボード、フットボード、サイドレールにジョイントコネクターボルトを取り付けます。  
この時完全に締め付けずに、ボルト頭との隙間が6mm以上空く様にします。  
仮固定なので工具を使わず指で締めることもできます。

## 2-2. サイドレールをベッドフレーム本体に取付け

## ●使用部品、工具

部番	部品/工具	数量
7	サイドレール (ボルト仮留め済み品)	2
1-⑦	六角レンチ	1



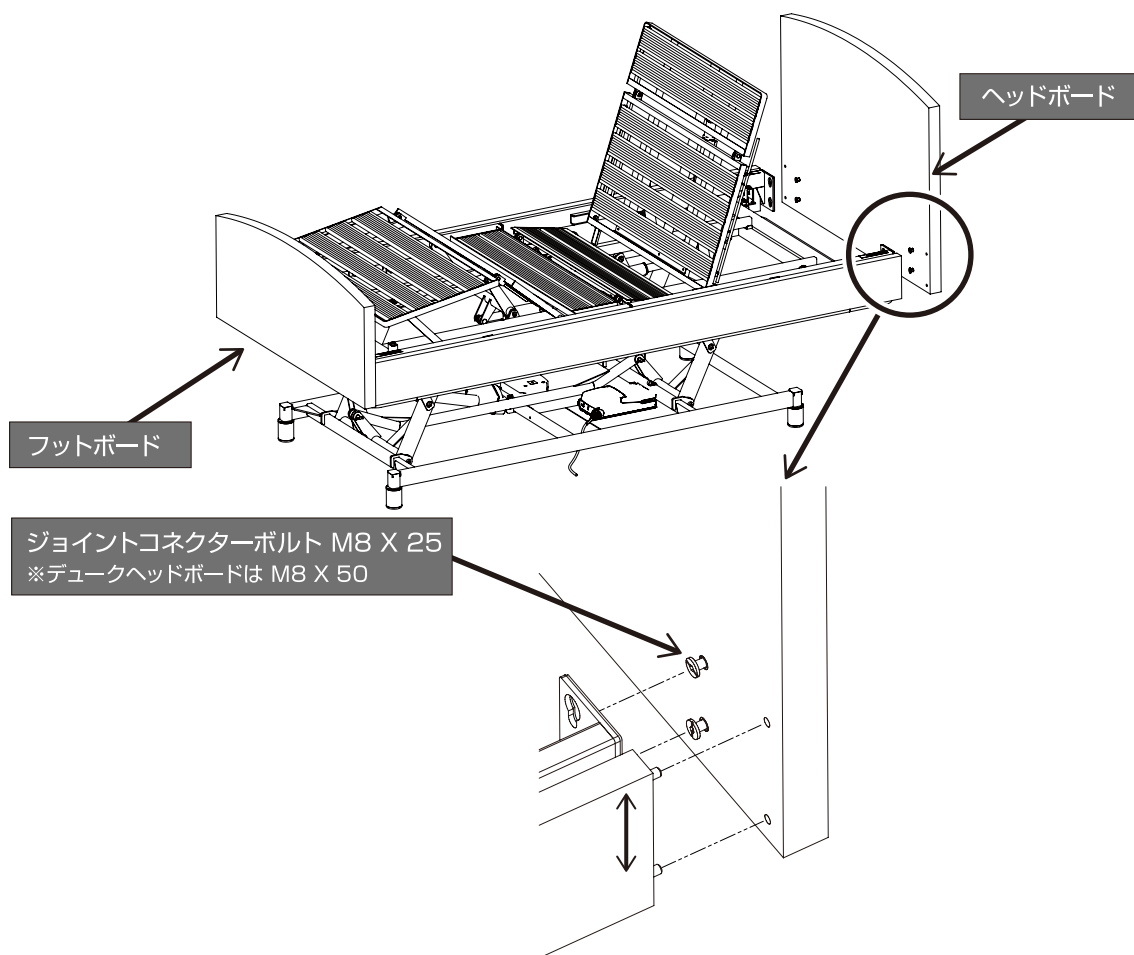
サイドレールに取付けたボルトの頭部分をメカフレーム本体のサイドの穴に合わせてはめ込みます。ジョイントコネクターボルトを締め、サイドレールが上下に自由に動く程度に仮留めします。

※この時点ではボルトを完全に締め込まないでください。

## 2-3. ヘッドボードとフットボードをベッドフレーム本体に取付け

## ●使用部品、工具

部番	部品/工具	数量
5	ヘッドボード (ボルト仮留め済み品)	1
6	フットボード (ボルト仮留め済み品)	1
1-⑦	六角レンチ	1



以下の説明はヘッドボード・フットボード共通の取り付け方です。

ヘッドボード、フットボードに取付けたボルトの頭部分をメカフレーム本体の取付け穴に合わせてはめ込みます。ヘッドボードとフットボードのどちらが先でも構いません。この時サイドレールのダボがヘッドボード、フットボードのダボ受け穴に入るようにサイドレールを上下に動かして位置を合わせてはめ込みます。位置合わせが終わったら、ヘッドボード、フットボード、サイドレールのボルトをしっかりと締め込みます。

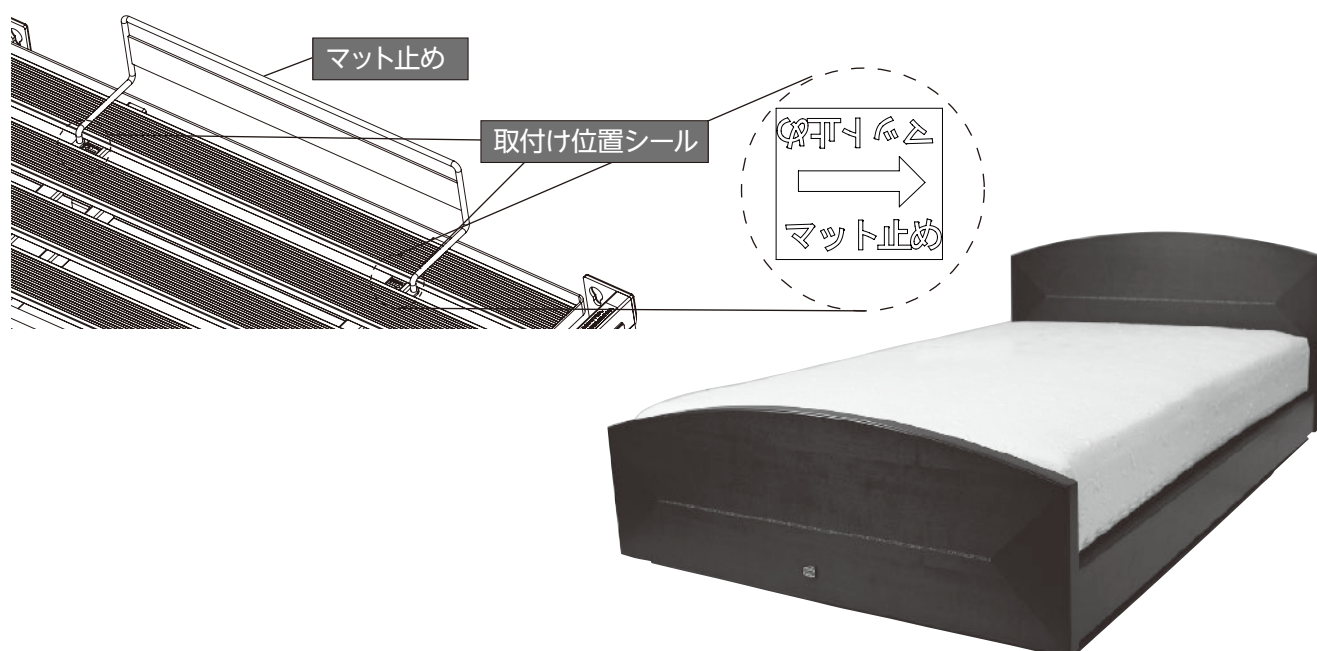
これで組立ては完了です。

### 3. マット止めの取付け

フット部に同梱されているマット止めをフット部に取付けます。取り付け位置はシールを目印にしてください。マット止めはマットレスがずれてしまうことを防止する大切な部品ですので忘れずに取付けてください。

#### ●使用部品、工具

部番	部品/工具	数量
3-①	マット止め	1



### 4. マットレスの設置

マットレスをメタルフレームの上に前後左右のバランスを見ながら設置します。

### 5. 最終動作確認

コントロールボックスから出ている電源ケーブルを伸ばし、先端のプラグをご家庭の100Vコンセントに差し込んでください。リモコンの操作ボタンを頭（4モーターの場合）、背、脚、全体昇降と1つずつ押し、希望通りの操作ができていないかを確認します。安全装置が機能するかも確認してください。安全装置は、頭（4モーターの場合）や背を下げる時、全体を下げる時に機能します。リモコンの設定が通常モードに変更できていない場合は、P22の「7-2-（1）.セットアップモード」に記載された操作方法に従い、リモコンの設定を通常モードに変更してください。

### 6. ベッドの設置

お好みの場所へ設置します。設置場所は次の条件を満たしていることが必要です。

1. 壁から5センチ以上離すこと。
2. 直射日光や熱、冷暖房の風が直接当たらないこと。
3. 100Vコンセントの場所から近いこと。
4. 家具の引き出しや扉等の開閉や可動に支障がないこと。
5. 本機の稼働範囲に障害物がないこと。

※本機を含む電気機器のケーブル類を踏みつけないようご注意ください。



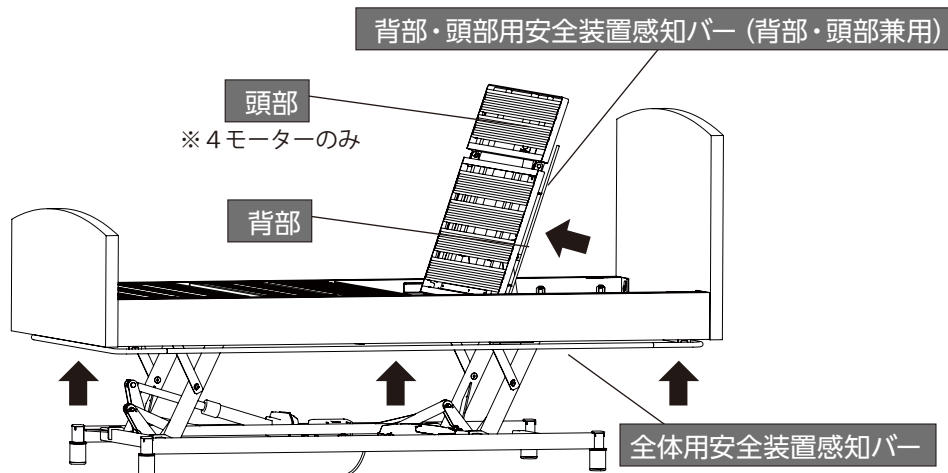
本機には背部、頭部、全体を下げる際に挟み込み事故を防止するための安全装置が搭載されています。

安全装置の感知バーが障害物を感知すると安全装置が作動し、下げ動作を停止します。

停止した場合は障害物を取り除いてから操作をし直してください。

※頭部は4モーターのみ ※上げ操作は安全装置が作動しても動作を停止しません。

※脚部には安全装置が搭載されていません。



## 1. 背部・頭部用安全装置 ※頭部は4モーターのみ

障害物などにより背部・頭部用安全装置感知バーが上図の矢印の方向に押されると背部と頭部の下げ動作を停止します。

障害物などを取り除いた後にリモコンを操作し直すと再び動かすことができます。

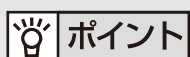
※背部、頭部用安全装置感知バーは左右両側に搭載されています。

## 2. 全体用安全装置

障害物などにより全体用安全装置感知バーが上図の矢印の方向に押されると全体の下げ動作を停止します。

障害物などを取り除いた後にリモコンを操作し直すと再び動かすことができます。

※全体用安全装置感知バーは全周 (頭側、脚側、左右両側) に搭載されています。



リモコンのボタンを押したまま障害物を取り除いても動作しません。  
障害物を取り除いた後、リモコンのボタンを押し直してください。

## 3. 障害物が無いのに背部・頭部・全体が下がらない時は

### 3-1 背部・頭部が下がらない

左右両側の背部・頭部用安全装置感知バーを上下に数回動かした後、下に下がった状態にしてください。

### 3-2 全体が下がらない

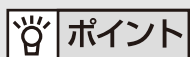
全体用安全装置感知バーの四隅 (頭側左右と脚側左右) を上下に数回動かした後、下に下がった状態にしてください。

### 3-3 上記 3-1、3-2を試しても下がらない時は

リモコンを操作し緊急モードに切り替えてください。方法は本書P23の切り替え方法 (通常モード→緊急モード) に従ってください。緊急モードに切り替えると安全装置の機能を停止させ、下げることが出来るようになります。

※このモードでは安全装置の状態にかかわらず、すべての可動部を操作することができますが、お早めに安全装置の点検をご購入店へご依頼ください。

注意) 緊急モードでは安全装置が機能しませんので、安全のため障害物が無いことを確認して操作してください。



緊急モードの状態で作った場合はリモコンの各ボタンを押す都度「ピッ」という通知音が1回鳴ります。

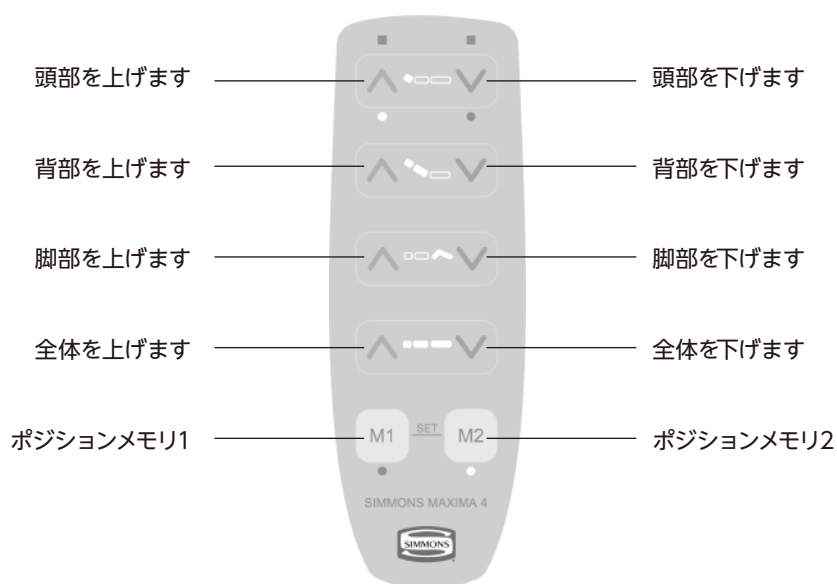
## 7.リモコンの機能の説明

お買い上げいただいたベッドは、頭（4モーターの場合）、背、脚のリクライニング機能とベッド全体を昇降させる機能を備えています。それらの機能はリモコンによって操作することができます。

### 7-1. リモコンの機能の説明

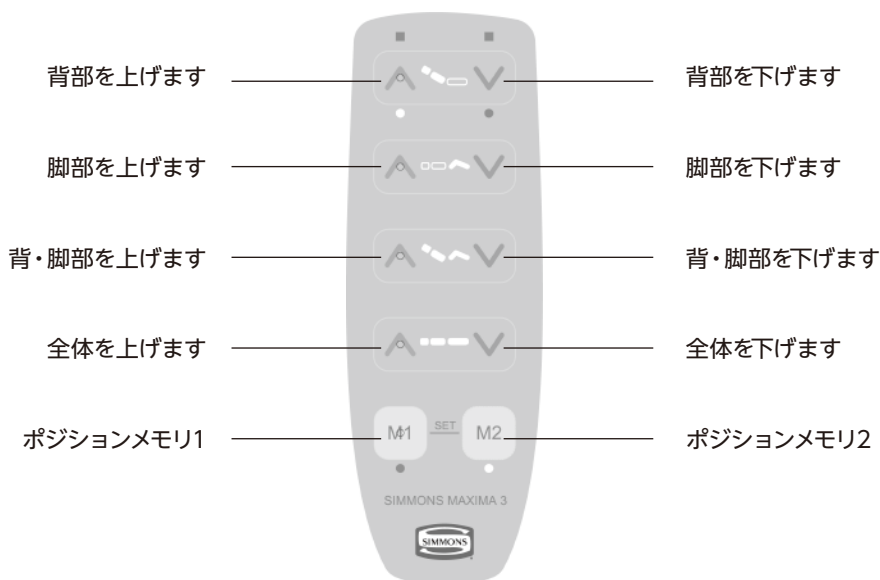
#### (1) 4モーター用のリモコン

※ 4モーター用のリモコンには「頭」「背」「脚」「全体」の4種類の動作とお好きなポジション（角度・高さ）をメモリーするボタンが備わっています。押し続けている間は動き、離すと止まります。



#### (2) 3モーター用のリモコン

※ 3モーター用のリモコンには「背」「脚」「背・脚同時」「全体」の4種類の動作とお好きなポジション（角度・高さ）をメモリーするボタンが備わっています。押し続けている間は動き、離すと止まります。



## 7-2. リモコンの各モードの機能及び設定方法の説明

お買い上げいただいたベッドは、頭（4モーターの場合）、背、脚のリクライニング機能とベッド全体を昇降させる機能を備えた、「通常モード」以外にも、「セットアップモード」、「緊急モード」、2つのモードを備えています。各モードへの設定の切り替えは、リモコン操作によりできますので、必要な場合に限り、次項に記載された説明を確認いただき、設定を変更してください。

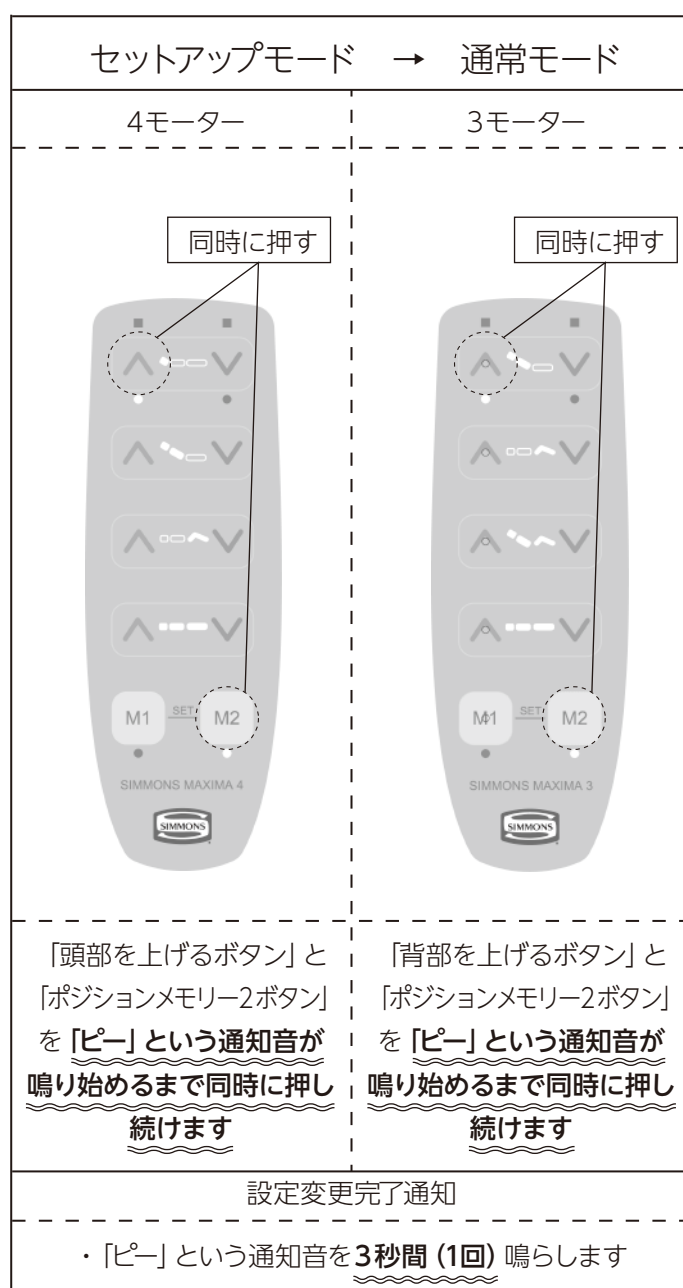
### (1) セットアップモード

※ 工場出荷状態で設定されているモードです。

リモコンのどのボタン（ポジションメモリ1、2ボタン以外）を操作しても、全体の上下昇降のみ動作します。

ポジションメモリ1、2ボタンを操作しても動作しません。また、背及び全体下降時の安全装置も機能しません。

組立て完了後は、セットアップモードから通常モードに変更してください。通常モードに変更しないと「全体昇降」以外は動作しません。切替方法は下記図を参照してください。

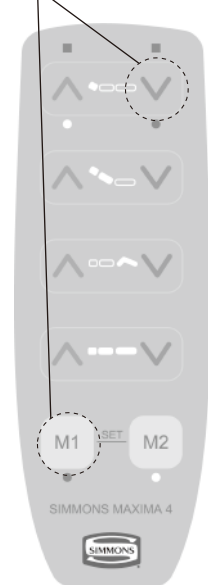
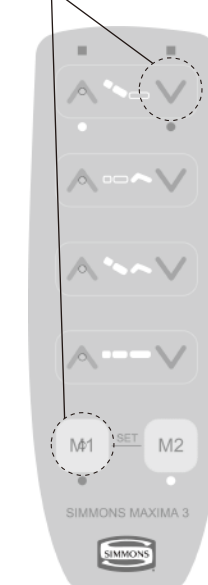
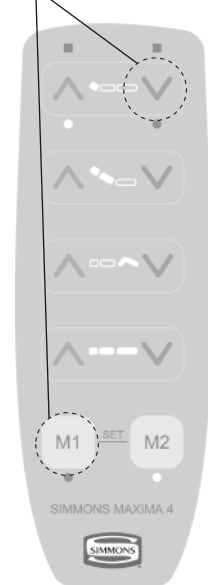



# リモコンの取り扱い説明と各モード設定方法 SIMMONS

## (2) 緊急モード

※ 予期せぬ理由で頭部や背部、全体下降時の安全装置に不具合が発生して頭部・背部・全体下降ができなくなってしまう際、安全装置の機能を停止させ、頭部・背部・全体の下降をさせるためのモードです。安全装置機能以外は通常モードと同等の機能を使用することができます。

緊急モードと通常モードの設定の切り替え方法は、下記図を参照してください。

通常モード → 緊急モード		緊急モード → 通常モード	
4モーター	3モーター	4モーター	3モーター
<p>同時に押す</p>  <p>SIMMONS MAXIMA 4</p>	<p>同時に押す</p>  <p>SIMMONS MAXIMA 3</p>	<p>同時に押す</p>  <p>SIMMONS MAXIMA 4</p>	<p>同時に押す</p>  <p>SIMMONS MAXIMA 3</p>
<p>「頭部を下げるボタン」と「ポジションメモリー1ボタン」を「ピー」という通知音が鳴り始めるまで同時に押し続けます</p>	<p>「背部を下げるボタン」と「ポジションメモリー1ボタン」を「ピー」という通知音が鳴り始めるまで同時に押し続けます</p>	<p>「頭部を下げるボタン」と「ポジションメモリー1ボタン」を同時に押し続けます。  <u>「全ての可動部が下がりはじめます。全て下がり切ると「ピー」という通知音が鳴りますので、鳴り始めるまで押し続けてください」</u></p>	<p>「背部を下げるボタン」と「ポジションメモリー1ボタン」を同時に押し続けます。  <u>「全ての可動部が下がりはじめます。全て下がり切ると「ピー」という通知音が鳴りますので、鳴り始めるまで押し続けてください」</u></p>
<p>設定変更完了通知</p> <p>・「ピーピーピー」という通知音を<u>3秒間(1回)</u>鳴らします</p>		<p>設定変更完了通知</p> <p>・全ての機能が<u>下がった状態</u>に戻ります                  ・「ピー」という通知音を<u>3秒間</u>鳴らします</p>	
<p>緊急モード動作時通知</p> <p>・各ボタンを押す都度、「ピッ」という通知音を<u>0.5秒間(1回)</u>鳴らします</p>			

安全装置の不具合が解決したら必ず通常モードに戻してご使用ください。

# リモコンの取り扱い説明と各モード設定方法 SIMMONS

## ●ポジションメモリ機能

テレビ鑑賞用、お食事用など生活スタイルに合わせて背の角度や脚の角度、全体の高さなどのポジションを2種類まで登録できます。メモリ登録を行うとボタン一つを押すだけで、設定したポジションになります。

## 7-3. ポジションメモリの登録方法

### 操作手順

#### 1. ポジションの設定

リモコンを操作してお好みのポジション（角度・高さ）に設定してください。

#### 2. ポジション登録待ちの状態に切替

ポジションが決まりましたら、リモコンの「M1ボタン」と「M2ボタン」を2秒間同時に押し、メモリセットモードに切り替えます。



#### 💡 ポイント

メモリセットモードに切り替わると「ピピッ」という通知音が鳴ります。

このボタンを同時に押してください（3・4モーター共通）

#### 3. ポジション登録

メモリセットモードに切り替えましたら、「M1ボタン」か「M2ボタン」のどちらかを「ピー」という通知音が鳴るまで押し、ポジションを登録して完了となります。（ポジション登録が完了すると「ピー」という通知音が3秒間鳴ります）



#### 注意

ポジション登録待ちの状態に切り替わってから10秒間入力がない場合、通常モードに戻ります。通常モードに戻る際、「ピー」という通知音を1秒間鳴らします。通常モードに戻ってしまった場合は、2.ポジション登録待ちの状態に切替から操作してください。

このボタンのどちらかを押してください（3・4モーター共通）

### ポジションメモリ設定後の操作方法

M1ボタンかM2ボタンを押し、設定したポジション（角度・高さ）までベッドを動かすことができます。設定したポジションまで動くと自動で停止するので、それまで押し続けてください（※途中でボタンを離した場合は安全上の都合で途中で停止しますので、再度押し続けてください）。

## 7-4. リモコン操作の注意事項

下記のような取り扱い方は、故障や破損の原因となりますので、絶対にしないでください。

- 床に落としたり、踏みつけたりするような取り扱い方
- ジュース等の飲料品や液体類がかかるような取り扱い方
- 本リモコンの分解行為

#### 💡 ポイント

新たなポジションを登録したい場合は、操作手順2・3をやり直します。



## 8. 自動充電式補助バッテリーの説明

本機には停電時でも操作できる様にするための自動充電式補助バッテリーが搭載されています。停電時でも操作することが可能ですが、以下の内容についてご注意ください。

### ご留意頂きたい内容

- ・ このバッテリーは非常用ですので、停電時は就寝出来る状態にするため背部や全体高さなど全ての可動部をフラットな状態に戻して、それ以上の操作はしないようにしてください。
- ・ 操作をくり返し充電残量が無くなると操作できなくなりますのでご注意ください。
- ・ 充電残量が少なくなると操作中にピーという連続音が鳴ります。その場合は背部や全体高さなど全ての可動部をフラットな状態にし、それ以上の操作はしないようにしてください。

## オプションの紹介

オプション製品を活用して、快適さの幅を広げることができます。

シモンズマキシマシリーズには、以下のようなシモンズ製オプション製品が用意されています。(別売)

### ◎ハンドレール

ハンドレールを取り付ける事で、ベッド上での移動や起き上がりなどがより快適に行えます。ご使用の際は、ハンドレールの説明書をよくお読みになり、正しい組み立てをお願いいたします。



### ◎大型キャスター

床面からベッドフレーム最下部までの高さを上げて、ロボット掃除機（ロボットクリーナー）などが入り込める隙間を確保します。平脚と交換することができます。

※床からベッドフレームの最下部まで約13cmの隙間が確保されます。



**重要**

## 分解する際の注意事項

SIMMONS

●本機を分解する際、分解前にリモコンのモードを変更する必要があります。(セットアップモードに変更)

本機を分解する際、ベース部からフット部とヘッド部を取り外す前に背部(4モーターの場合は頭部も含む)と脚部をフラットにした後、リモコンのモードを通常モードからセットアップモードへ変更してください。

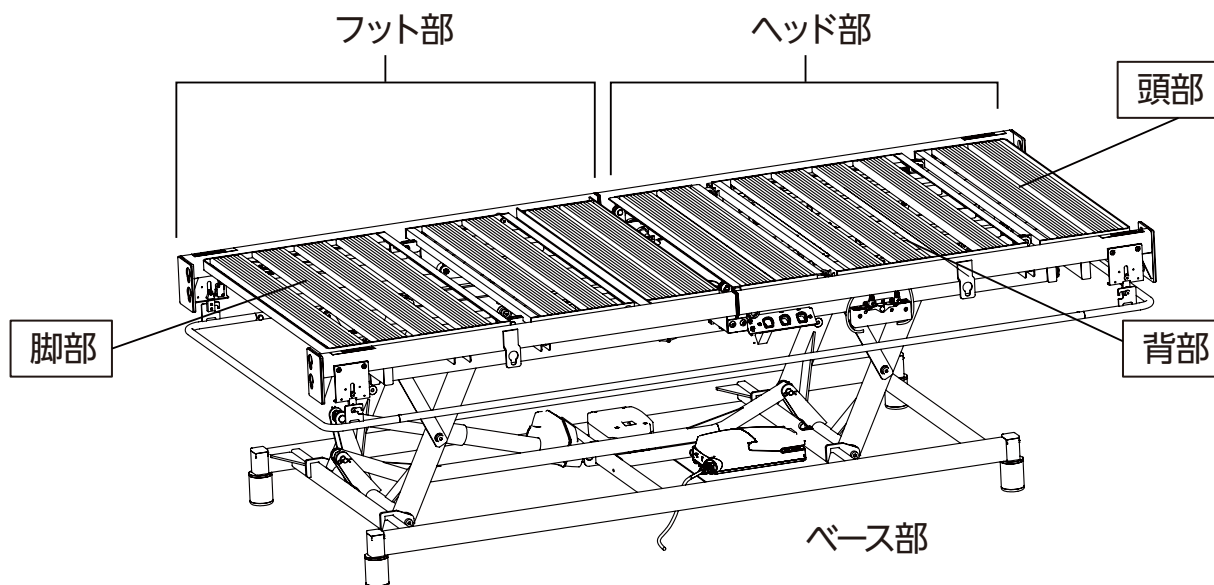
セットアップモードに変更していない場合はフット部とヘッド部を取り外した後のベース部の操作が出来なくなります。

セットアップモードに変更することにより、フット部とヘッド部を取り外した後のベース部の操作が可能となります。また、昇降用安全装置を取外した後でもベース部の下げ操作が可能となります。

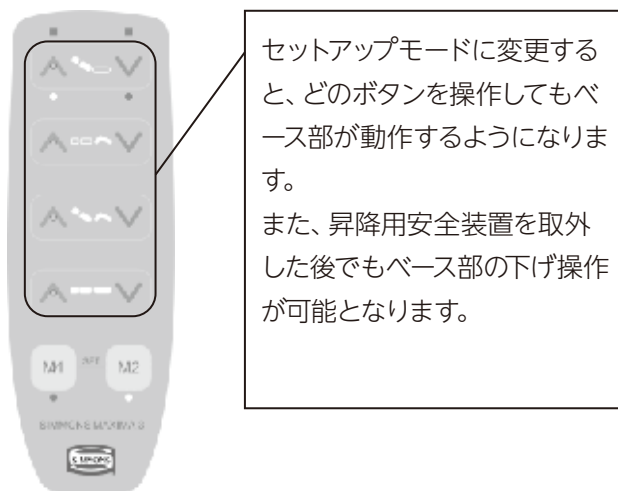
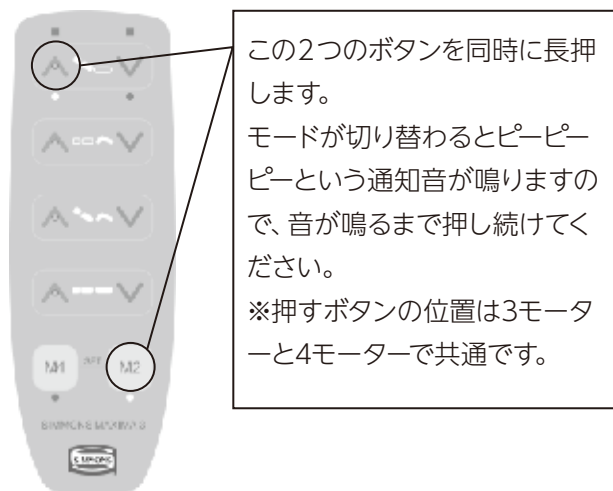
※新たに組立てる際にもセットアップモードになっている必要があります。(出荷時はセットアップモードになっています。)

### 1. セットアップモードに変更する

(1) リモコンを操作して背部(4モーターの場合は頭部も含む)と脚部をフラットにする。



(2) リモコンを操作して標準モードからセットアップモードへ変更する。



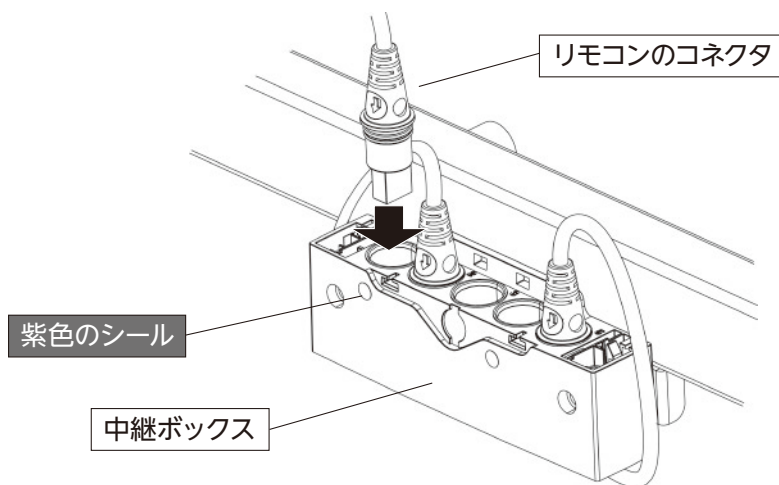
※セットアップモードに変更する前にフット部とヘッド部を取り外してしまったら…

再度フット部とヘッド部を組立てた上で(ねじ止めの必要はありません)正しく配線をした後、セットアップモードに変更してください。

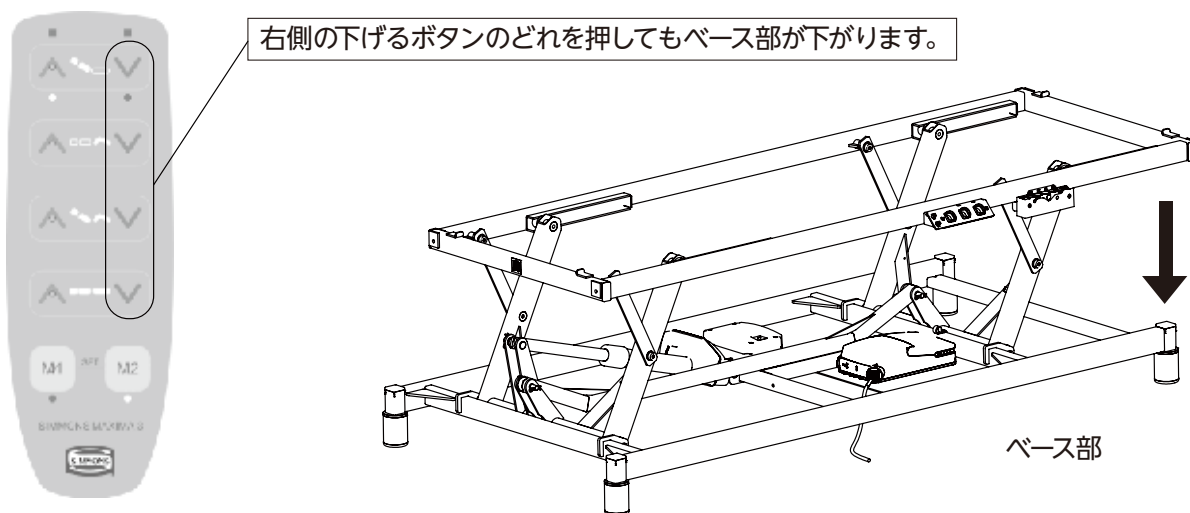
## 2. ヘッド部とフット部を取り外した後にベース部を下げる

(1) リモコンを中継ボックスの1番コネクタへ接続する。

詳細は組立及び取扱説明書の「1-1 ベース部の組立 (3) リモコンを接続します。」の項を参照してください。



(2) リモコンを操作してベース部を一番低い状態まで下げる。

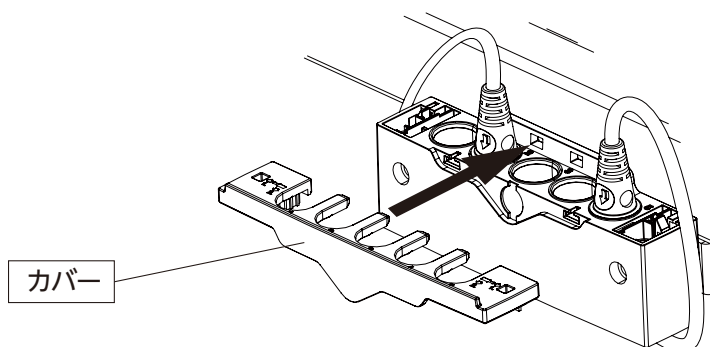


(3) リモコンを外して中継ボックスのカバーを取付ける。

ベース部を一番低い状態まで下げたら、リモコンを外して中継ボックスのカバーを取付けてください。

詳細は組立及び取扱説明書の「1-5 頭・背用安全装置ケーブルとリモコン受けコネクタケーブルの接続

(3) 「カバー」を中継ボックスへ元通りに取り付けます。」の項を参照してください。



# 「故障かな?」と思ったときに・・・ SIMMONS

トラブルや不具合などに関する対応方法についてご案内します。

次の項目をご確認頂いても動作が改善しない場合は、お買い上げの店舗やシモンズお客様相談窓口までご連絡ください。

	症状	項	確認内容	対応内容
1	一部もしくは全てのモーターが動かない ※リモコン操作時に無音	1-1	電源プラグがご家庭の100V コンセントに正しく差し込まれていますか?	電源プラグをコンセントに正しく差し込んでください 改善されない場合は、「1-2」項の内容を確認してください。
		1-2	コンセントまで電気が通じていますか?	コンセントに他の電機製品をつないで確認してください。 改善されない場合は、お買い上げ店舗へご連絡ください。
2	一部もしくは全てのモーターが動かない ※リモコン操作時に「ピッピッピッ」と連続して通知音が鳴る	2-1	各アクチュエーターのケーブルの接続に問題はありませんか?	P10～P14に記載の各ケーブルの接続方法を再度ご確認ください いただき、ケーブルの抜けがないか確認してください。 ※ケーブル接続が原因の場合、通知音が消え動作復帰します。 改善されない場合は、「2-2」項の内容を確認してください。
		2-2	各アクチュエーターのケーブルが断線していませんか?	P10～P14に記載の各ケーブルの接続方法を再度ご確認ください いただき、ケーブルの断線がないか確認してください。  「ケーブルの断線がある場合」 お買い上げ店舗へご連絡ください。  「ケーブルの断線がない場合」 アクチュエーターの故障の可能性があります。 お買い上げ店舗へご連絡ください。
3	リモコン操作中に「ピー」と音が鳴り、しばらく動作させると全てのモーターが動かなくなった  ※リモコン操作中常に「ピ」という通知音が鳴る	3-1	電源プラグがご家庭の100V コンセントに正しく差し込まれていますか?  ※コンセントに差し込まれていない場合、ベッドに搭載されているバッテリーで動作している状態です。 「ピー」という通知音はバッテリーの電力が低下していることを伝えています。	電源プラグをコンセントに正しく差し込んでください。 改善されない場合は、「3-2」項の内容を確認してください。
		3-2	各アクチュエーターのケーブルが断線していませんか?	電源プラグのケーブルに断線がないか確認してください。  「ケーブルの断線がある場合」 お買い上げ店舗へご連絡ください。  「ケーブルの断線がない場合」 「3-3」項の内容を確認してください。
		3-3	コンセントまで電気が通じていますか?	コンセントに他の電機製品をつないで確認してください。 改善されない場合は、お買い上げ店舗へご連絡ください。

	症状	項	確認内容	対応内容
4	「ベッド全体」、 「頭部」、「背部」 が上がるが下がらない	4-1	安全装置が働いていませんか?	各部の安全装置を確認してください 改善されない場合は、「3-2」項の内容を確認してください。
		4-2	安全装置の各配線は正しく接続されていますか?	P10~P11 1-4項、P12~P13 1-5項を確認してください。 改善されない場合は、「3-3」項の内容を確認してください。
		4-3	安全装置のケーブルが断線していませんか?	「配線の断線がある場合」 お買い上げ店舗へご連絡ください。 「配線の断線がない場合」 安全装置スイッチの故障の可能性がありますので、お買い上げ店舗へご連絡ください。 ※緊急で下げる必要がある場合は、 「P23 7-2 (2) 緊急モード」の項を参照いただき、 設定変更をしてベッドを下げてください。
5	木部やファブリック部に隙間ができる	5-1	対応内容を確認ください⇒	サイドレールを固定しているボルトを緩めて隙間を閉じ、再度サイドレールの固定ボルトを締めてください。 「2.木部フレームを取付け」の項を再度ご確認ください。
6	動作時に異音が出る	6-1	異音が出る場所を特定してください	ベッドを動かしていただき、異音が出る部位とどのような動作で音が鳴るのかを確認します。 異音が出る部位が特定できた場合、「6-2~6-5」項の内容を確認してください。 異音が出る部位が不明である場合や、様子を見ても音が鳴りやまない場合は、お買い上げ店舗へご連絡ください。
		6-2	<異音発生場所> アクチュエーターの取付け部位	潤滑油(グリス)を塗布してください。ほこりなどの異物が付着している場合は、取り除いた後に塗布してください。 シリコン系の潤滑油(グリス)を使用してください。
		6-3	<異音発生場所> フレームと接するゴム座	メタルフレーム側の接地面にグリスを塗布、または、フェルトを貼り付けてください。
		6-4	<異音発生場所> フレームとアクチュエーターケーブル	メタルフレーム側の接地面にフェルトを貼り付けてください。
		6-5	<異音発生場所> 木部	木部フレームを固定しているボルトを一旦緩めてください。 音鳴りを確認し、音が消えたら再度ボルトを締めこんでください。
7	荷重をかけると異音が出る	7-1	異音が出る場所を特定してください	荷重をかけて異音が出る部位を確認します。 異音が出る部位が特定できた場合、 「6-2、6-5」項の内容を確認してください。 異音が出る部位がわからない場合や、様子を見ても音が鳴りやまない場合は、お買い上げ店舗へご連絡ください。
		7-2	ヘッド部、フット部(メタルフレーム)	異音が出る部位に印をつけ、お買い上げ店舗へご連絡ください。
		7-3	ベース部(メタルフレーム)	設置した床面が柔らかい場合、平脚の下に板などを敷き、床面の補強を行って下さい。 様子を見ても音が鳴りやまない場合は、お買い上げ店舗へご連絡ください。



人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。

 **注意** 「障害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」を示しています。



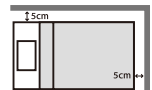





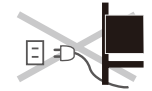


■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(以下は図記号の例です)

 **必ず守る**：実行しなければならない内容です。

 **禁止**：してはいけない内容です。

## ●設置上の注意

 **注意** 「障害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」を示しています。



 必ず守る	平らで安定した場所に設置してください。 ガタツキや異常音などの故障の原因になります。	
	ダニやカビが発生しやすい高温多湿の場所は避け、湿気がこもらないように壁から5cm以上離して設置してください。 お部屋の換気をしてください。	
	直射日光や熱、冷暖房器の風などが直接当たる場所は避けてください。 変形・変色の原因になります。	
	床の材質によっては、ベッドの接地面が傷つくことがありますので、カーペット類を使用して床面の保護を行ってください。	
	部屋の中でコンセントの位置、家具の引き出し、扉等の開閉に支障がないことを確認してください。	
	ベッドフレーム類の移動は必ず2人以上で行ってください。 腰を痛めたり、また、ベッドフレーム類が破損したり、壁や床が傷つく原因になります。	
	ベッドフレームの上には必ず専用マットレスを載せてお使いください。 専用マットレス以外を載せてお使いになると破損してケガをする場合があります。	
	電源コード（本製品および他の電化製品）をヘッドボード、フットボードおよび脚等で踏まないでください。 コードが破損し感電・漏電・火災の原因になります。	
コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外での使用はしないで下さい。	AC100V	
本商品は日本以外の国・地域では使用できません。	外国	
 禁止	ベッド設置場所の上部に落下物をおかないようにしてください。 地震時などに落下物でケガをする原因になります。	

## ●使用上の注意



## 注意

「障害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」を示しています。

 必ず守る	<p>ベッドの近くで発熱物を置かないでください。 引火して火災になる恐れがあります。</p>	
	<p>ベッドの周辺には危険物を置かないでください。 ベッドから落下した時（ねぼけ等で）ケガをする恐れがあります。</p>	
	<p>電源プラグをコンセントから抜くときは必ずプラグ本体を持ってください。また、ぬれた手ではさわらないでください。 コードを引っ張ると断線や感電の恐れがあります。</p>	
	<p>ベッドの上昇・下降を連続運転（約2分間）しないでください。モーターが過熱し、安全のためのヒューズが切れてストップすることがあります。</p>	
	<p>アクチュエータ・リモコン・コントロールボックスを絶対に分解しないでください。</p>	
	<p>幼児や操作が理解できないと思われる方がリモコンに触れる可能性がある場合には、こまめに電源プラグをコンセントから抜いて誤作動による事故を未然に防いでください。</p>	
	<p>ヘッドボードの許容積載重量について、3.0Kg以下にしてください。 重量の片寄りが生じ、商品が破損したり、転倒したり、ケガをする恐れがあります。</p>	
 禁止	<p>規定の使用人員※以上でのご使用は避けてください。 破損してケガをする恐れがあります。 ※ S,S/D サイズ：1人</p>	
	<p>ベッドの上で飛びはねないでください。 ケガをしたり、破損の原因になります。</p>	
	<p>ベッドをソファ代りに使用しないでください。 クッション性が損なわれる恐れがあります。</p>	
	<p>部品は分解改造しないでください。 破損してケガをする恐れがあります。</p>	
	<p>リモコンを床に落としたり、踏みつけたりすると故障や破損の原因となります。 スイッチケースの破損やスイッチの入ったままの状態になり危険です。</p>	
	<p>リモコンや電装部品などに、液体類がかからないよう、ご注意ください。漏電や素材変質などでスイッチが正常に働かなくなる恐れがあります。</p>	
	<p>ハンドレール（オプション）にはぶらさがったり、乗ったり寄りかからないでください。</p>	
	<p>本リモコン以外のデバイスでの操作はしないでください。 誤作動を起こし、危険な場合があります。</p>	

## ●使用上の注意



## 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。

 禁止	ベッドの上で喫煙はおやめください。 火災の原因等になることがあります。	
	乳幼児を一人でベッドに寝かせたりしないでください。落下や窒息の原因になることがあります。	
	ベッドが作動中、可動部に指をはさまないでください。	
	ベッドの本体下部には入ってはいけません。	

※背上げ、脚上げなど電動機能の使用は、健康状態（病状）などを十分考慮してお使いください。

## 保守点検

 必ず守る	ヘッドボード等の取付けネジが緩んでいないか時々確認してください。 外れてケガをする恐れがあります。	
	虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。 他から虫が入ったことも考えられるので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。	
	電源プラグは根元まで差し込み、ほこり等は定期的にとり除いてください。また、長期間使用しない時は、コンセントから電源プラグを抜いてください。	
	布製品用消臭・除菌剤を使用される場合、マットレスをベッドから離してご使用ください。また、マットレスが完全に乾燥してからベッドに載せてください。	

※本製品には停電時に数回作動させることのできる補助バッテリーが内蔵されております。補助バッテリーの寿命により停電時に作動しなくなった場合は、補助バッテリーの交換（有償）が必要となります。お買い求めの販売店にご相談ください。

## お手入れ方法

いつまでも気持ちよく使用でき、またベッドそのものを長持ちさせるために下記のようなお手入れが必要です

## (1) お掃除

マットレスはふとん類と違ってスプリングやウレタン等の詰め物が入っていますので、ホコリは叩かずに電気掃除機で吸い取ってください。

## (2) ベッドパッド等の使用

マットレスは湿気に敏感です。マットレスの上には必ずベッドパッドやシーツを敷いてご使用ください。ベッドパッドやシーツは洗濯をしてください。

## (3) マットレスのローテーション

定期的（2～3ヶ月に1回）にマットレスの向きをかえてください。（頭部と脚部のローテーション）シモンズマキシマコイル&フォーム6.5は両面仕様ですので、ウラ・オモテのローテーションも行うことをおすすめします。マットレス全体を平均的に使うことが長持ちさせる秘訣です。

定格電圧	AC100V
定格周波数	50Hz/60Hz
消費電力	390W

メ タ ル フ レ ー ム 重 量	4モーター メタルフレーム	シングル	9.8kg
		セミダブル	10.4kg
	3モーター メタルフレーム	シングル	9.6kg
		セミダブル	10.2kg

※上記はメタルフレームの重量です。※木部フレームの重量は商品により異なります。

※ヘッドボードの許容積載重量について、3.0Kg以下にしてください。

重量の片寄りが生じ、商品が破損したり、転倒したり、ケガをする恐れがあります。

可動角度・高さ	頭部	0～30° (無段階)
	背部	0～70° (無段階)
	脚部	0～40° (無段階)
	昇降ストローク	3.2cm (無段階)

## 1. 保証 ……………

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。内容は本書保証書をご参照ください。

## 2. 修理 ……………

修理を依頼されるとき

### 保証期間中は

お買い上げ販売店にご連絡ください。

保証書の内容により修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ・品名、品番
- ・お買い上げ日
- ・故障または、異常の内容（できるだけ詳しく）
- ・お名前、ご住所、お電話番号

### 保証期間が過ぎているときは

お買い上げ販売店にご相談ください。修理により使用できる製品についてはご要望により有料で修理いたします。

## 3. アフターサービス ……………

アフターサービスについてご不明の場合はお買い上げ販売店、または、弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。

お客様相談窓口

フリーダイヤル：0120-316-066

受付時間：月～金 午前 10：00～午後 5：00

（土・日曜日、祝祭日、年末年始及び弊社休日は除きます）



➤ 保証書 ➤

品名	シモンズ マキシマ シリーズ
保証期間	本体：1年

お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前		
	ご住所	〒□□□□-□□□□	
	Tel.	☎ ( )	
ご販売店	店名		
	住所	☎ ( )	印

(本書とお買上げ納品書または領収書を一式としてご提示ください。)

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きにしたがった正しい使用状態で故障・破損した場合は、本書とお買上げ納品書または領収書を一式として、ご提示のうえ、お買上げ販売店に修理をご依頼ください。  
※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

## 保証規定

1. 保証期間内において、取扱説明書にしたがった正常なご使用状態において故障した場合には、無償で修理いたします。
2. 次のような場合には、保証期間内でも有償保証になります。
  - (1) 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障及び損傷
  - (2) お買上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
  - (3) 火災、塩害、異常電圧および地震、風水害、落雷その他、天災地変などによる故障
  - (4) 保証書および納品書または、領収書のご提示がない場合
  - (5) 本保証書の保証期間および販売店名の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げ販売店、または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。

所属団体名 **全日本ベッド工業会**

